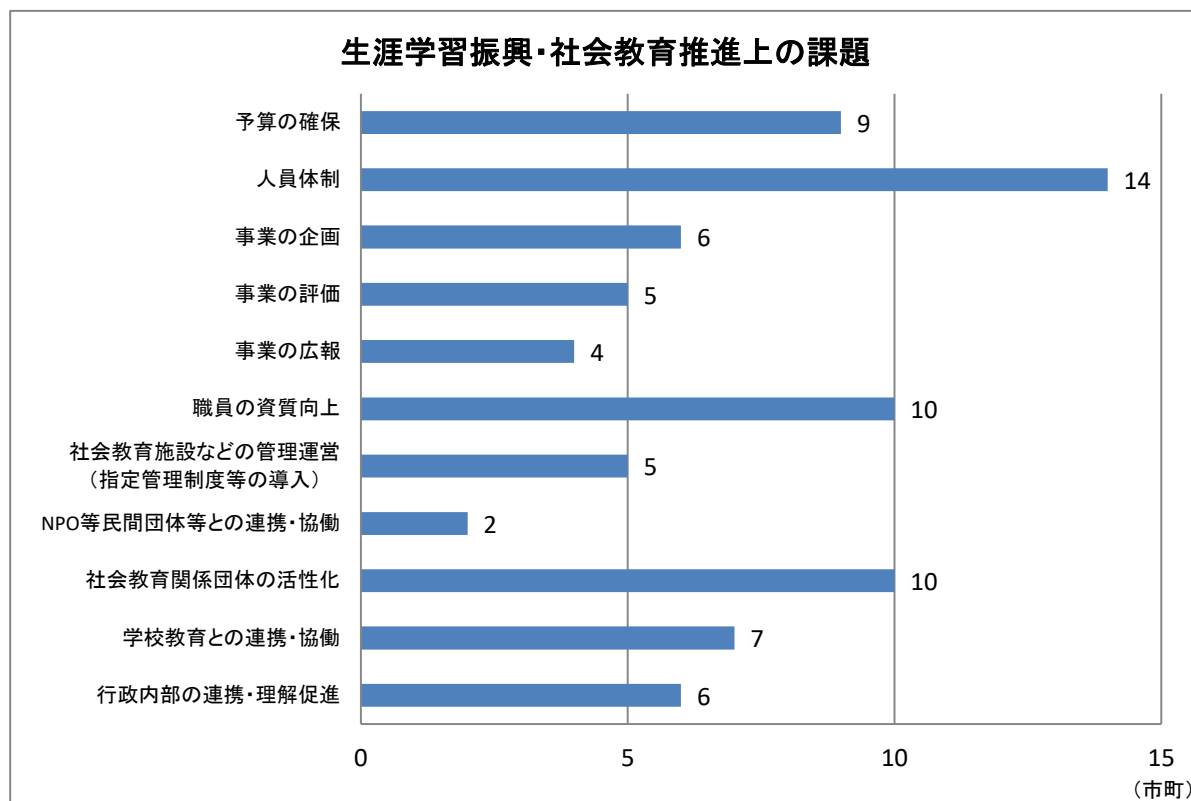


第2章 調査結果

I 市町の課題・取組について

1 貴市町において、生涯学習振興・社会教育推進上の課題にはどのようなものがあると思いますか。

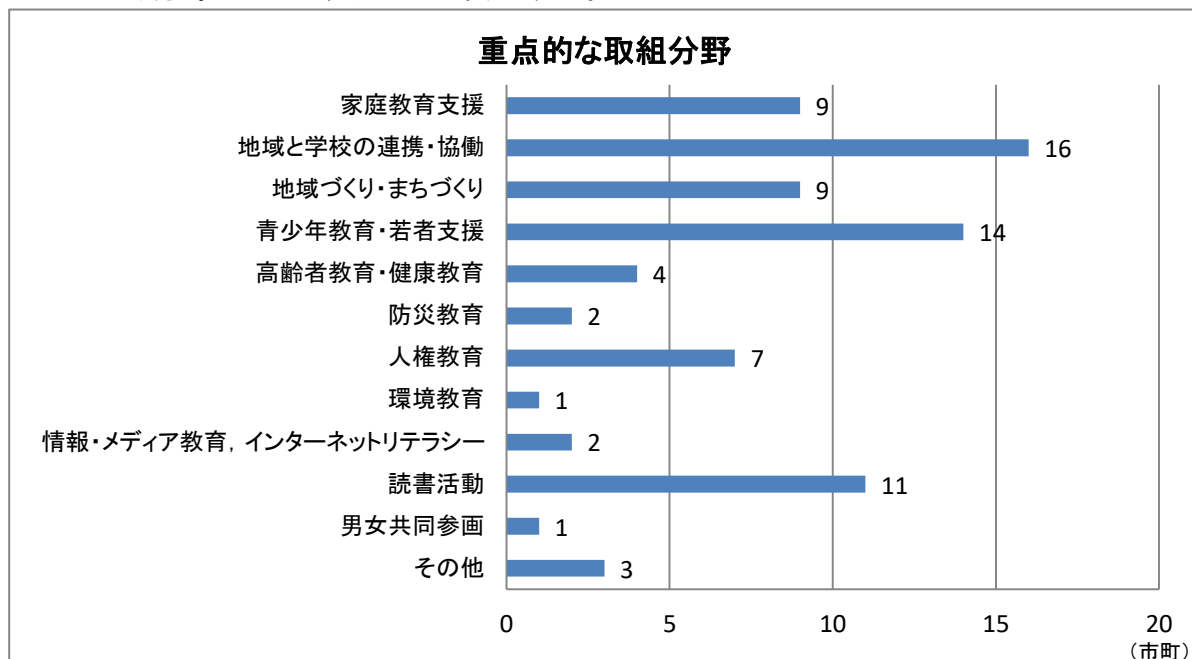


<記述内容>

予算の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・財政難により社会教育に対する予算が確保しづらい ・予算の削減により、例年どおりの活動ができない ・事業、研修会出席等に係る予算の確保が難しい ・毎年予算が削られるため、事業の幅が狭くなる ・財政状況が厳しいため、年々予算が削減されている ・要求する予算が十分に確保できない ・社会教育施設の個別計画策定のための予算の確保
人員体制	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館類似施設へ社会教育の専門職員を配置したいが、なかなか当局から理解が得られない ・専門的職員の配置がない ・中心となる人材がない ・核となるセンター等の体制(配置)と人材の育成 ・業務に対する人員配置が十分でない ・慢性的な人員不足 ・専門的知識・経験のある人材が不足している ・ボランティア等の人手不足。事業数に対する職員数の不足 ・定員管理上、職員採用を抑制。定数を確保できていない ・全図書館への司書配置、文化財学芸員の確保 ・限られた職員数で他の多くの業務との兼務
事業の企画	<ul style="list-style-type: none"> ・住民ニーズや必要課題の把握と講座企画の調整 ・企画立案ができない(研修機会不足、コーディネーター不足) ・事業の企画力が不足 ・企画のための時間が確保できない

事業の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者数以外での評価指標の設定 ・目標設定とその評価方法が曖昧 ・評価に対する統一した意識をもつための研修が必要 ・事業実施後の評価の仕方, 評価の活かし方
事業の広報	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ, SNSでの情報発信強化 ・ホームページやFacebookなどの有効活用 ・効果的な広報を行うため研修が必要 ・市民セミナー等, 市民への効果的な周知方法
職員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> ・担当業務が多岐にわたり, 表面的な取組にとどまってしまう(深まらない) ・経験年数が短い職員が多い ・市単独の研修会が企画できない ・社会教育主事を配置してほしいと要望があるが, 現状不在 ・職員の意識向上が必要 ・職員の資質向上のための研修が十分でない ・業務が多忙で研修に参加する余裕がない ・研修企画の不足(今年度の場合)
社会教育施設などの管理運営 (指定管理制度等の導入)	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した施設が多く, 今後の維持管理が課題 ・市長部局への移管検討 ・指定管理のあり方について検討が必要 ・施設の老朽化に伴う維持管理 ・施設の経年劣化, 老朽化, 水銀灯の製造等中止
社会教育関係団体の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・人材及び活性化させるためのノウハウが不足している ・活動が定例の会議のみとなっている ・団体間の連携 ・補助金の対象が一部の事業に限られている ・活性化につながる連携の方法について模索している ・少子高齢化に伴い活動が衰退している ・少子高齢化により, 会員確保が困難になりつつある ・団体員の高齢化・マンネリ化 ・文化財保護に関する若手人材の確保
学校教育との連携・協働	<ul style="list-style-type: none"> ・学校現場に負担とならないような事業実施が困難である ・地域活動と学校教育の連携を進める人材不足 ・地域学校協働活動の推進 ・学校教育現場の多忙 ・学校との円滑な連携 ・コミュニティ・スクール制度導入について
行政内部の連携・理解促進	<ul style="list-style-type: none"> ・行政内部での横断的な事業実施が困難である ・職員間に意識のばらつきがあるため研修が必要 ・何から始めていいのかわからない ・生涯学習課とまちづくり担当課との事業のすみ分け

2 現在(または今後), 貴市町の生涯学習振興・社会教育行政として, 重点的に取り組んでいる(予定している)分野はどのようなものがありますか。



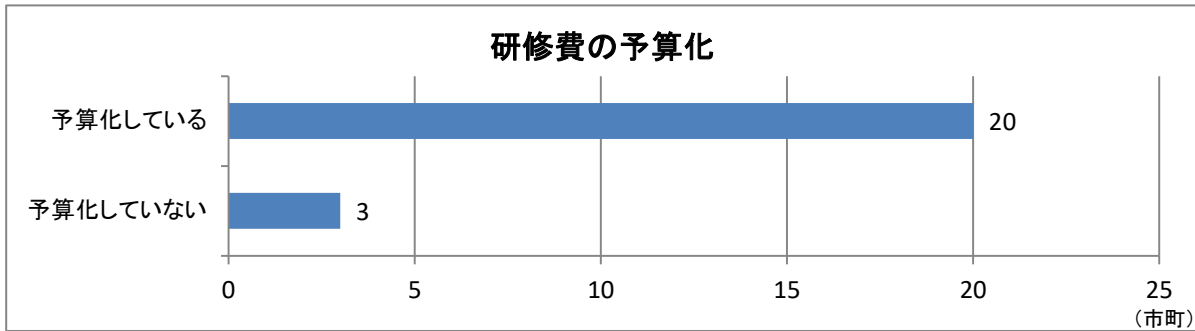
<記述内容>

家庭教育支援	<ul style="list-style-type: none"> ・「『親の力』をまなびあう学習プログラム」【三原市, 安芸高田市】 ・「家庭教育相談会」「『親の力』をまなびあう学習プログラム」【呉市】 ・「家庭教育支援事業」【尾道市】 ・「『親の力』をまなびあう学習プログラム」「甲奴地区家庭教育支援チーム」【三次市】 ※詳細は, 57～59ページを参照 ・「『親の力』をまなびあう学習プログラム」「家庭教育支援チーム」【庄原市】 ・「ブックデビュー」「『親の力』をまなびあう学習プログラム」【東広島市】 ※詳細は, 75～76ページを参照 ・「乳幼児学級」「津田っ子」「親子のお話会」【廿日市市】 ・(今後は)「アウトリーチ型の支援等」【府中町】
地域と学校の連携・協働	<ul style="list-style-type: none"> ・「放課後子供教室」【三原市, 大竹市】 ・「放課後子供教室」「地域教育支援活動促進事業」【尾道市】 ・「地域未来塾『天領あやめ塾』」「学校・家庭・地域連携協力推進事業」【府中市】 ※詳細は, 52～56ページを参照 ・「放課後子供教室」「地域未来塾」【庄原市】 ・「地域学校協働活動推進事業」【東広島市】 ・「地域学校協働活動推進事業」「コミュニティ・スクールの推進」【廿日市市】 ※詳細は, 77～78ページを参照 ・「放課後子供教室(地域未来塾)」【安芸高田市】 ・「地域学校協働本部の整備」【府中町】 ・「放課後子供教室(土曜くまのっ子教室)」【熊野町】 ・「放課後子供教室」【安芸太田町】 ・「放課後子供教室(わくわくスクール)」【大崎上島町】 ・「地域運営型放課後子供教室」【世羅町】 ・「放課後子供教室を核としたまちづくり」【神石高原町】
地域づくり・まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・「交流センターの地域拠点化」【竹原市】 ・「まちづくり出前講座」【三原市】 ・「おのみち市民大学」【尾道市】 ・「生涯学習まちづくり出前講座」【東広島市】 ・「街道まつり」「まちづくり講座」「各市民センターまつり」【廿日市市】 ・「市民セミナー」【安芸高田市】 ・「協働支援センターを核としたまちづくり」【神石高原町】

青少年教育・若者支援	<ul style="list-style-type: none"> ・「電子メディアと子ども達との健全な関係づくりの推進」【広島市・大邱広域市青少年交流事業】「青少年国際平和未来会議ヒロシマ」【広島市】 ・「親善都市交流事業」【少年少女海外研修事業】「若者居場所づくり事業」【ふるさと子ども博士講座】【三原市】 ・「青少年の健全育成活動」【青少年の非行化防止活動】「青少年相談活動」【環境の浄化活動】「若者チャレンジ講座」【尾道市】 ・「若者×ツナグバ」【三次市】 ※詳細は、60～61ページを参照 ・「KOIKOI ジュニアリーダーズクラブ」【大竹市】 ※詳細は、66～67ページを参照 ・「生涯学習パスポート(小・中学生用)」【東広島市】 ・「じごぜんキッズ」【夏休み子どもチャレンジ教室】【廿日市市】 ・「夏休み子ども教室」【子ども科学教室】【安芸高田市】 ・「青少年芸術鑑賞」【江田島市】 ・「あいさつ運動や町内巡視等(青少年育成府中町民会議)」【府中町】 ・「チャレンジコンクール」【安芸太田町】 ・「成人式での講演会等」【大崎上島町】 ・「トップアスリートに学ぶ事業」【神石高原町】
高齢者教育・健康教育	<ul style="list-style-type: none"> ・「老人大学」【公民館等主催講座】【三原市】 ・「老いの教育講座」【東広島市】 ・「人生100年時代に自身で備える！シリーズ」【七福大学】【廿日市市】 ・「高齢者大学(市内6大学)」【安芸高田市】 ・「総合型スポーツクラブ(わいわいスポーツクラブ)」【大崎上島町】
防災教育	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域と協働した防災訓練」【竹原市】 ・「防災訓練」【防災講座】「救命救急講習」【廿日市市】
人権教育	<ul style="list-style-type: none"> ・「人権作品事業」【人権教育事業】【庄原市】 ・「人権学習」【人権落語】「盲導犬講座」【廿日市市】 ・「『親プロ』オリジナルの人権講座の継続」【安芸高田市】 ・「人権学習講演会」【江田島市】 ・「人権学習会」【小地域学習会】【大崎上島町】 ・「人権学習会開催」【ヒューマンフェスタ】【神石高原町】
環境教育	<ul style="list-style-type: none"> ・「ひろしまクールシェア」【花いっぱい運動】「野菜栽培講座」【廿日市市】
情報・メディア教育、インターネットリテラシー	<ul style="list-style-type: none"> ・「電子メディア対策推進事業」【尾道市】 ・「スマホはじめて講座」【スマホに挑戦】【廿日市市】
読書活動	<ul style="list-style-type: none"> ・「おはなし会」【読書会】【三原市】 ・「読書感想文コンクール表彰」【尾道市】 ・「府中市子どもの読書活動推進計画策定」【府中市】 ・「子供の読書活動推進事業」【家庭教育支援チーム】【庄原市】 ・「レファレンスサービス」【東広島市】 ・「図書ボランティア活動」【廿日市市】 ・「ブックスタート」【安芸高田市】 ・「江田島しましまスタンプラリー」【江田島市】 ※詳細は、79ページを参照 ・「家庭読書推進事業(くまどく)」【熊野町】 ・「『くらしの中に本がある』環境づくり事業」【世羅町】 ・「シルトピアカレッジ図書館を核とした事業」【神石高原町】
男女共同参画	<ul style="list-style-type: none"> ・「コミュニケーション力を磨いて心豊かに健康になろう」【廿日市市】
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・「生涯学習委託事業」【庄原市】 ・「主催講座」【生涯学習フェスティバルの開催】「大学連携」【東広島市】 ・「『日本語講座』(国際理解)」【くらし応援講座』(消費者生活)」【廿日市市】

Ⅱ 職員研修について

1 貴市町では、今年度(令和2年度)、社会教育関係職員の研修費(研修開催経費, 参加旅費等)は予算化していますか。



○研修開催経費を予算化している市町

9市町

○研修開催経費平均(予算化している市町のみ)

約41,000円

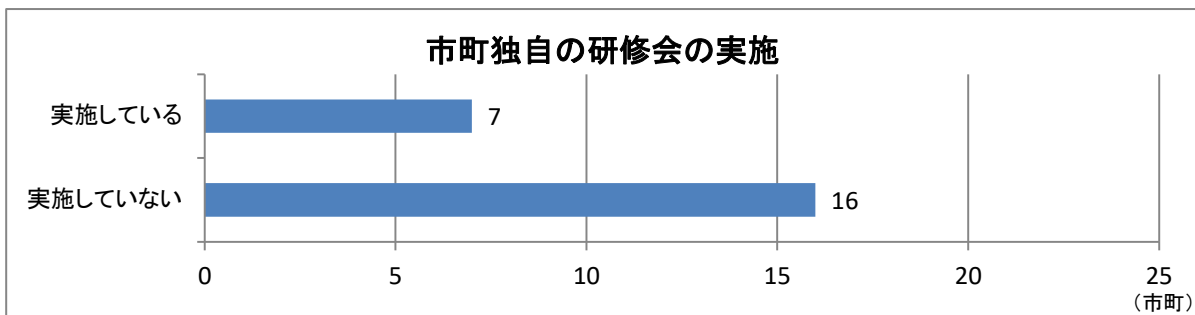
○参加旅費を予算化している市町

18市町

○参加旅費平均(予算化している市町のみ)

約152,000円

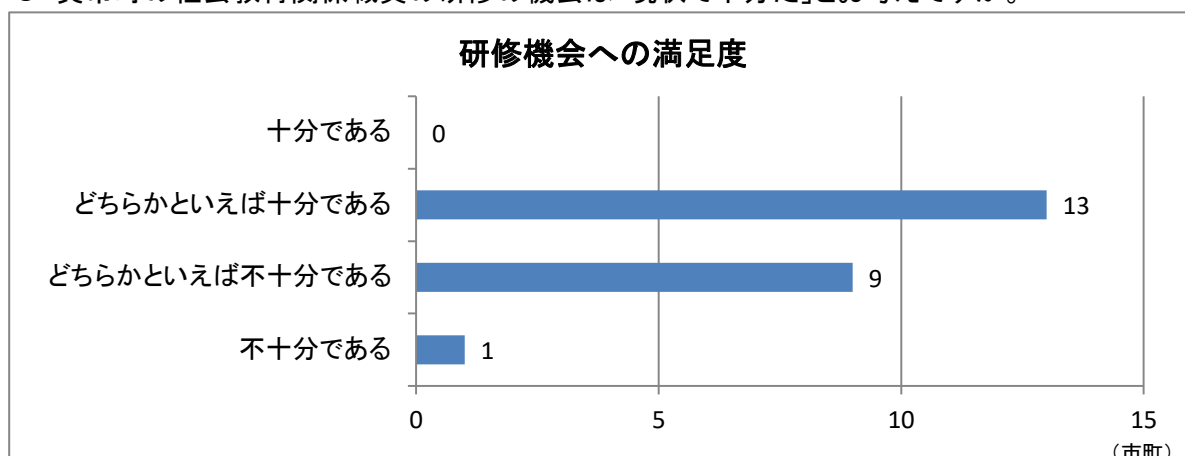
2 貴市町では、社会教育関係職員を対象とする市町独自の研修会を実施していますか。



○研修会の年間実施回数の平均(実施している市町のみ)

約7.5回

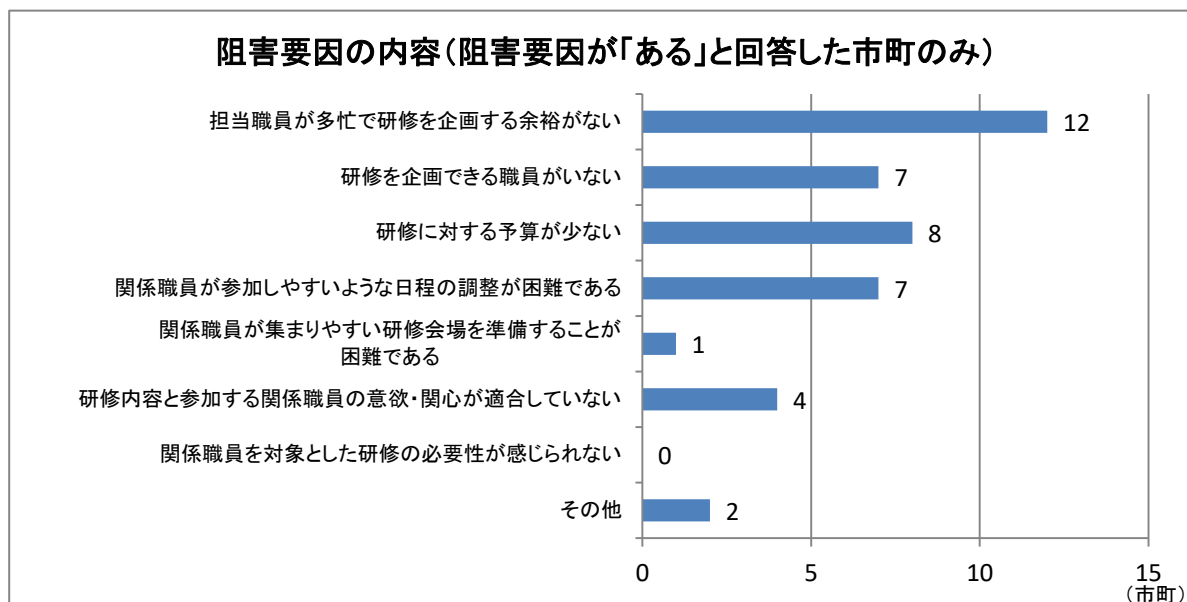
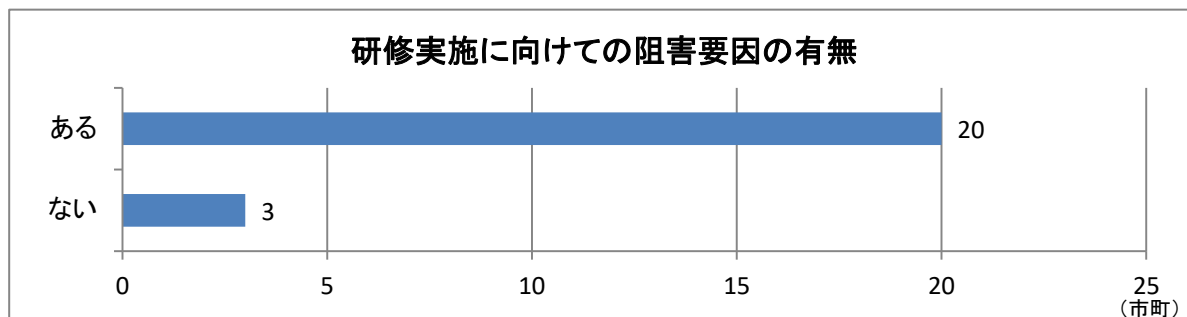
3 貴市町の社会教育関係職員の研修の機会は「現状で十分だ」とお考えですか。



<記述内容>

どちらかといえば十分である	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で、直接会場で研修を受ける機会が減ってきている一方で、オンラインでの研修が増え、学習機会としては十分に保たれていると考える【三次市】 ・市独自の研修会や県主催研修会等へ積極的に参加できるよう進めている【庄原市】 ・地域センター(旧公民館)が、住民自治協議会の指定管理となっているセンターがほとんどであり、事務職員が、住民自治協議会の事務も担っている状況であるため、これ以上研修機会を増やすことが難しい【東広島市】 ・社会教育関係の研修は、基礎研修や学習プログラム研修等のほかに、家庭教育や人権教育などそれぞれに開催されているため学ぶ機会は多い【安芸高田市】 ・県主催の研修や事業ごとに様々な研修機会が設けられている【府中市】 ・県の研修を活用させていただいている【海田町】 ・現状で特に必要を感じていない【坂町】 ・県主催研修会へ参加予定【安芸太田町】 ・県の研修には積極的に参加し、町独自でも、社会教育委員の会議や、地域づくりセンターのネットワーク会議時に毎年研修を行っている【北広島町】 ・県等が主催する研修会がある【世羅町】 ・県主催の研修会への参加を今後も継続する予定【神石高原町】
どちらかといえば不十分である	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育関係職員を対象とする研修を実施していないため【広島市教委育成課】 ・公民館をまちづくりセンターに組織改革をしたが、何を指すのか中途半端な組織となっている【呉市】 ・職員数が少ない中、積極的に参加はしているが、予算上の問題もあり、十分とは言えない【竹原市】 ・通常業務に追われて研鑽の時間が十分に取れていない【三原市】 ・単独での企画には限界があるため、県主催研修会の更なる充実を期待したい【府中市】 ・あまり充分ではないが、日々の業務に追われる中で、これ以上の参加は難しい【大竹市】 ・職員の資質向上のため、評価、プログラム、広報等の計画的な研修が必要【廿日市市】 ・業務が多忙で研修に参加する余裕がない【江田島市】 ・県や尾三地区での研修参加が、予算の関係で複数の職員が参加できない【大崎上島町】
不十分である	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の意欲・知識にばらつきがあるが、ニーズにあった研修が開催できていないと考える【尾道市】

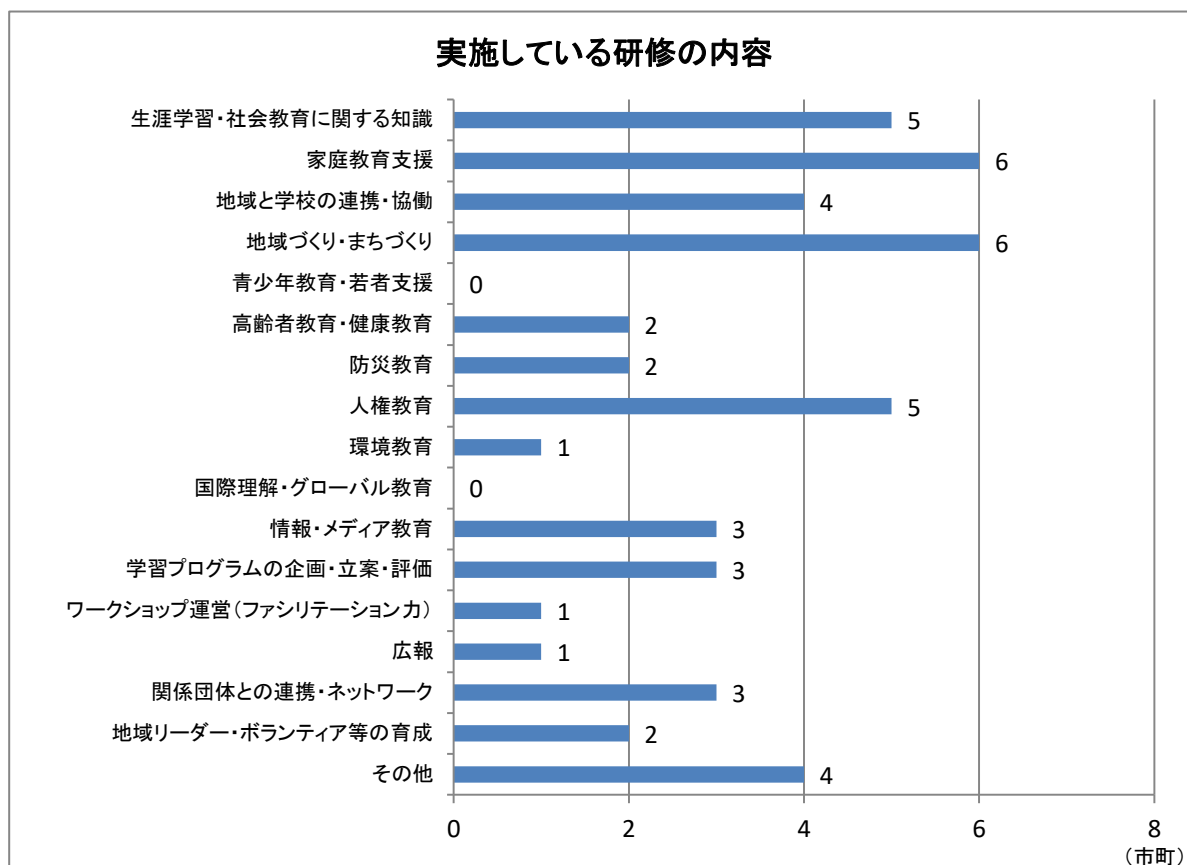
4 貴市町が実施される社会教育関係職員の研修を進めるうえで、阻害要因となっているものがありますか。



<「その他」の内容>

- ・町での研修よりも県や地区での研修の充実がよいと考える
- ・社会教育単体研修ではなく、地域づくり研修を行う

5 貴市町では、現在どのような内容の研修を行っていますか。

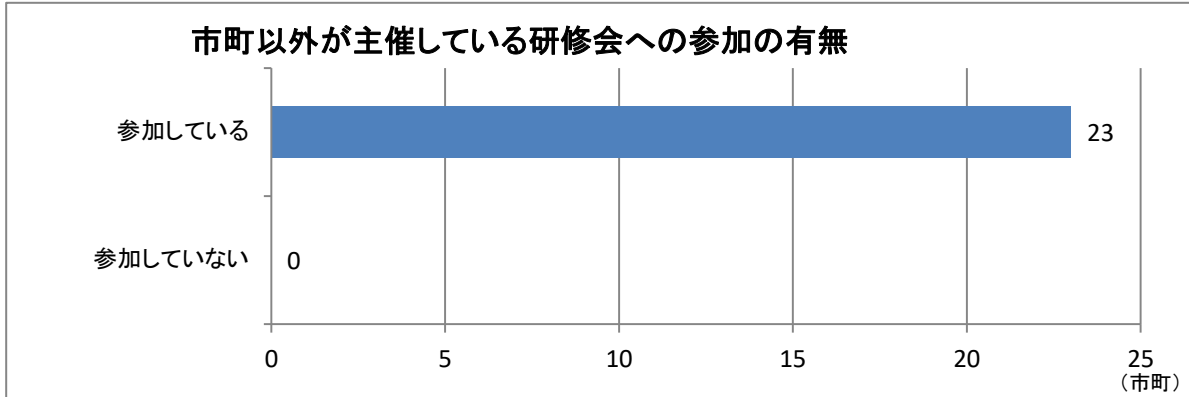


<記述内容> ※具体的な内容[対象者]【市町名】

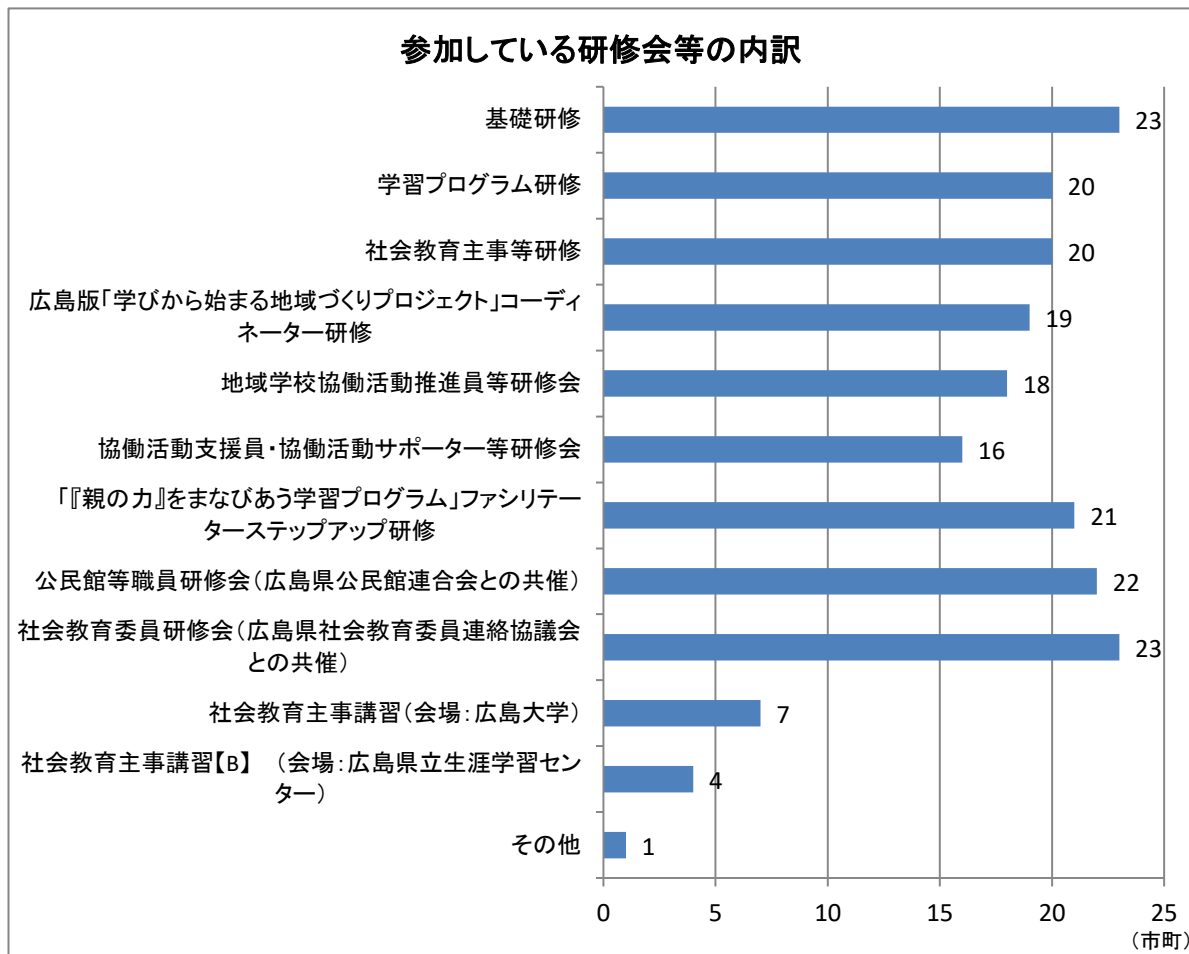
生涯学習・社会教育に関する知識	<ul style="list-style-type: none"> ・地域づくり[公民館職員]【福山市】 ・他市町事例等から学ぶ公民館活動[公民館職員]【府中市】 ・三次市社会教育委員研修会[社会教育委員]【三次市】 ・生涯学習とは？社会教育関係職員とは？[生涯学習推進員・地域センター職員]【東広島市】 ・国・県の動向、ワークショップ[担当職員・社教委員等]【北広島町】
家庭教育支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ファシリテーターの養成[市民]【呉市】 ・講師を招いての講演[子育て支援者]【尾道市】 ・「親プロ」ファシリテーター養成講座[一般]【府中市】 ・ファシリテーター研修会[「親プロ」ファシリテーター]【三次市】 ・市独自の研修会や県主催研修会等へ積極的に参加できるよう進めている[家庭教育推進チームメンバー]【庄原市】 ・「親の力」をまなびあう学習プログラム[小中学校の保護者]【廿日市市】
地域と学校の連携・協働	<ul style="list-style-type: none"> ・講師を招いての研修会[放課後子ども教室指導員、ボランティア登録者]【尾道市】 ・コミュニティ・スクール研修会[三次市教育委員会]【三次市】 ・地域と学校の連携・協働に関する研修会[地域学校協働本部関係者]【廿日市市】 ・講演会[協働支援センター職員・町民]【神石高原町】

地域づくり・まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・地域づくり[公民館職員]【福山市】 ・築こう！豊かな集落づくり研修会[農業関係者等]【三次市】 ・広島版「学びから始まる地域づくりプロジェクト」実施[生涯学習推進員・地域センター職員]【東広島市】 ・市の施策や方針の意識合わせ[全職員]【廿日市市】 ・まちづくり講演会[協働支援センター職員・町民]【神石高原町】
高齢者教育・健康教育	<ul style="list-style-type: none"> ・介護職員研修(初任者研修・実務者研修)[介護職員]【三次市】 ・高齢者学習に関する講座作成[生涯学習推進員・地域センター職員]【東広島市】
防災教育	<ul style="list-style-type: none"> ・講師を招いての講演[公民館職員・市民]【尾道市】 ・三次市自主防災組織育成研修会[地域住民]【三次市】 ・町総務課主催で開催[地域住民・職員]【神石高原町】
人権教育	<ul style="list-style-type: none"> ・人権教育[公民館職員]【福山市】 ・人権DVD試写会[人権推進委員]【庄原市】 ・講座計画書作成[生涯学習推進員・地域センター職員]【東広島市】 ・人権講演会, 小地域学習会[住民]【大崎上島町】 ・人権講演会[協働支援センター職員・町民]【神石高原町】
環境教育	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会等を実施[全職員]【廿日市市】
情報・メディア教育	<ul style="list-style-type: none"> ・講師を招いての講演[市民]【尾道市】 ・三次市DX変革推進職員研修会[三次市役所職員]【三次市】 ・情報リテラシーについての研修[全職員]【廿日市市】
学習プログラムの企画・立案・評価	<ul style="list-style-type: none"> ・講座の企画・事例発表[自治振興区職員]【庄原市】 ・講座計画書作成・改善[生涯学習推進員・地域センター職員]【東広島市】 ・ワークショップ[担当者・センター職員等]【北広島町】
ワークショップ運営(ファシリテーション力)	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ研修運営[生涯学習推進員]【東広島市】
広報	<ul style="list-style-type: none"> ・協働支援センター主催で開催[地域住民・職員]【神石高原町】
関係団体との連携・ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども会活動のアイデア等[子ども会育成指導員]【広島市】 ・事務職員間の意見交換・交流[自治振興区職員]【庄原市】 ・広島版「学びから始まる地域づくりプロジェクト」における連携[生涯学習推進員・地域センター職員]【東広島市】
地域リーダー・ボランティア等の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・講師を招いての研修会[放課後子ども教室指導員, ボランティア登録者]【尾道市】※「地域と学校の協働・連携」の欄と同一の研修 ・ホスピタリティ研修会[観光ボランティアガイド]【三次市】
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・講座実施の内容発表[公民館職員]【尾道市】 ・手話講座[市民センター職員]【廿日市市】 ・男女共同参画講演会[協働支援センター職員・町民], 食育講演会[協働支援センター職員・町民]【神石高原町】

6 貴市町の職員は、貴市町以外が実施する研修会（広島県教育委員会主催等）に参加していますか。



6① 貴市町以外が主催している研修会（広島県教育委員会主催等）について、参加している事業を選択してください。

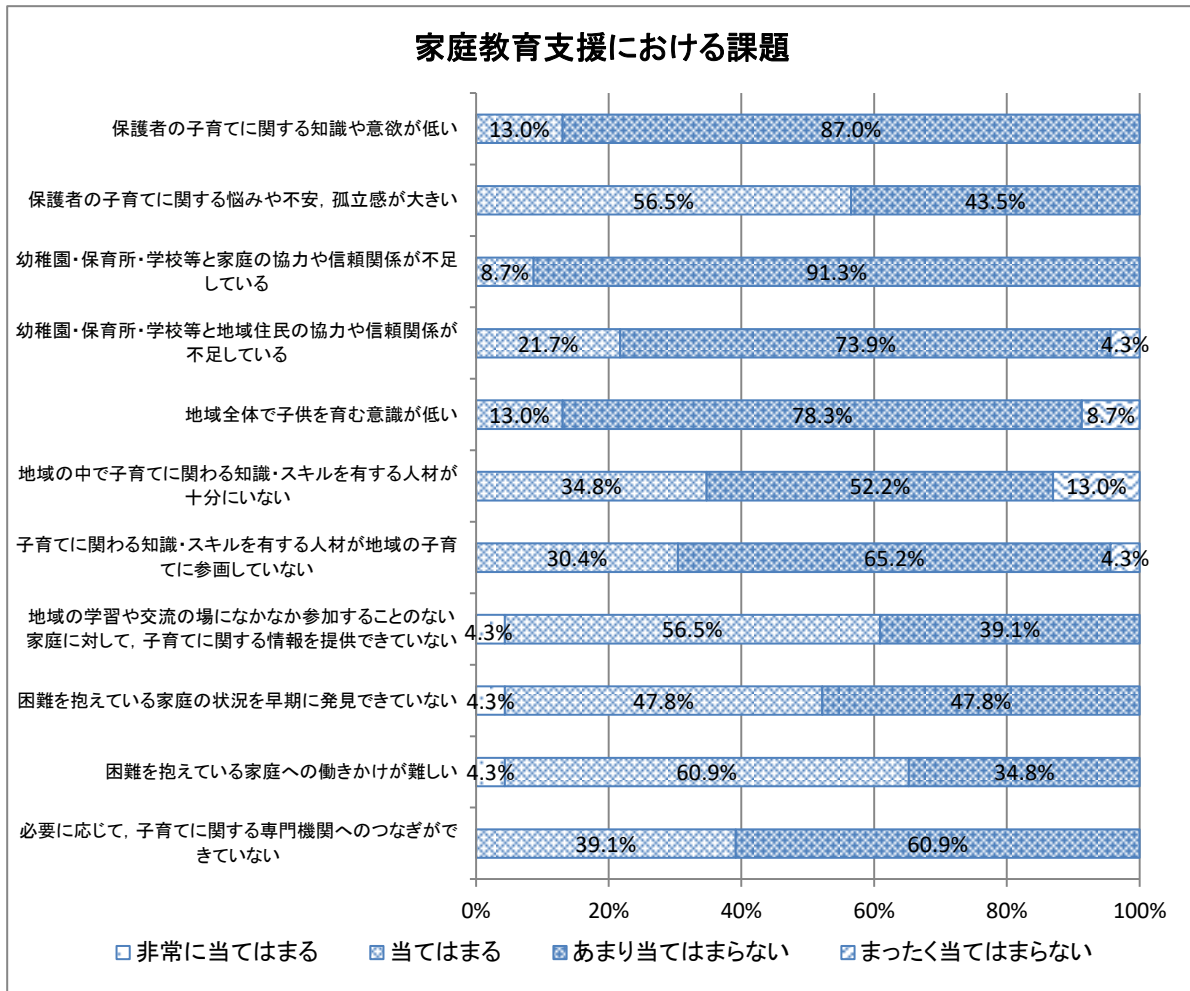


<「その他」の内容>

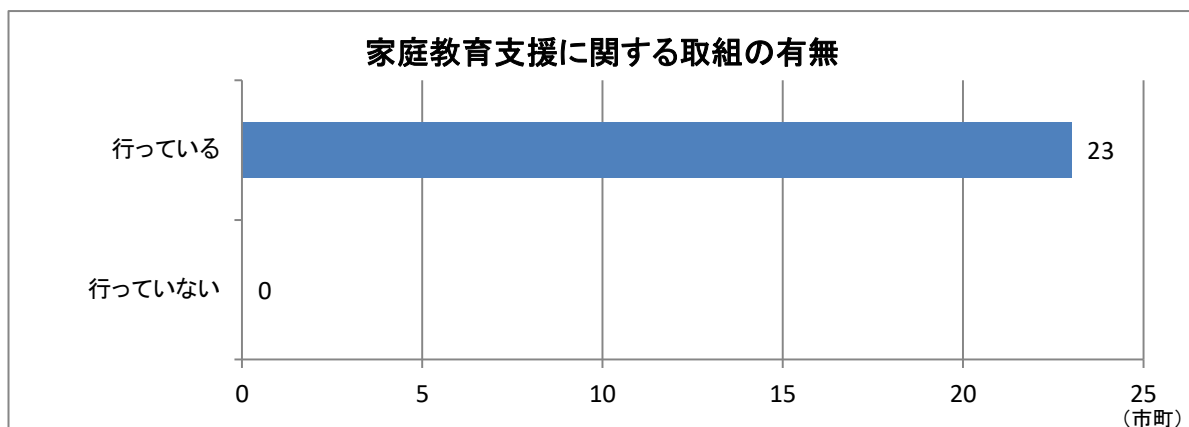
・尾三地区公民館連合会主催の研修【尾道市】

Ⅲ 家庭教育支援について

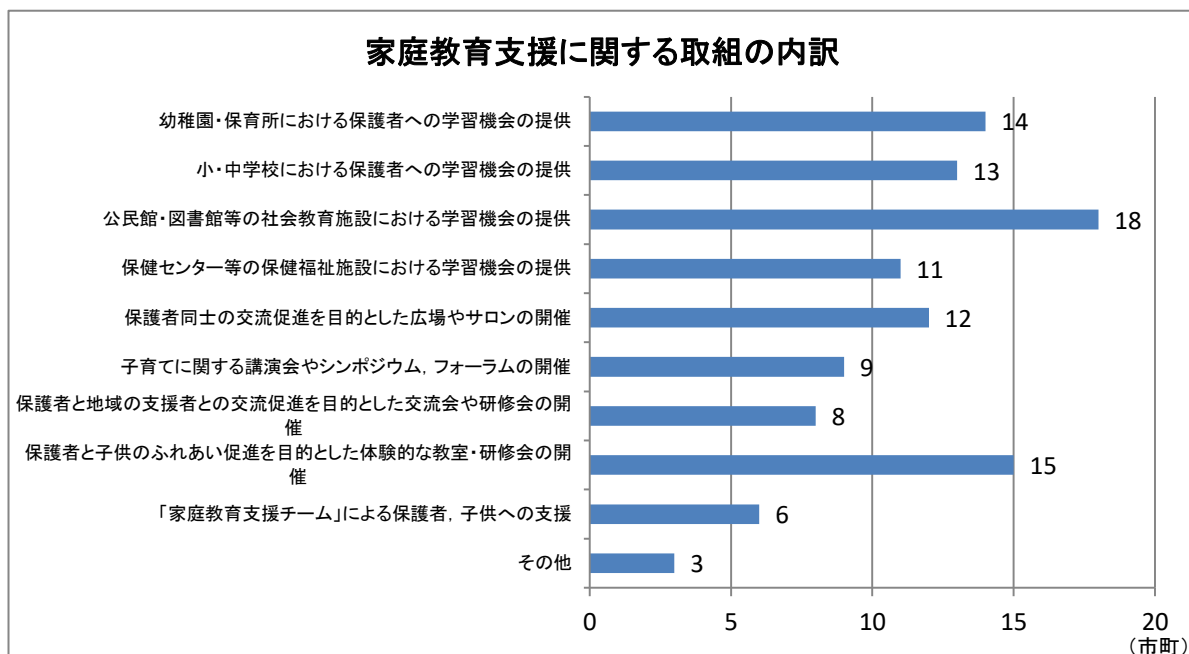
1 貴市町では、家庭教育支援に関わってどのような課題があると思われますか。



2 貴市町では、家庭教育支援に関する取組を行っていますか。



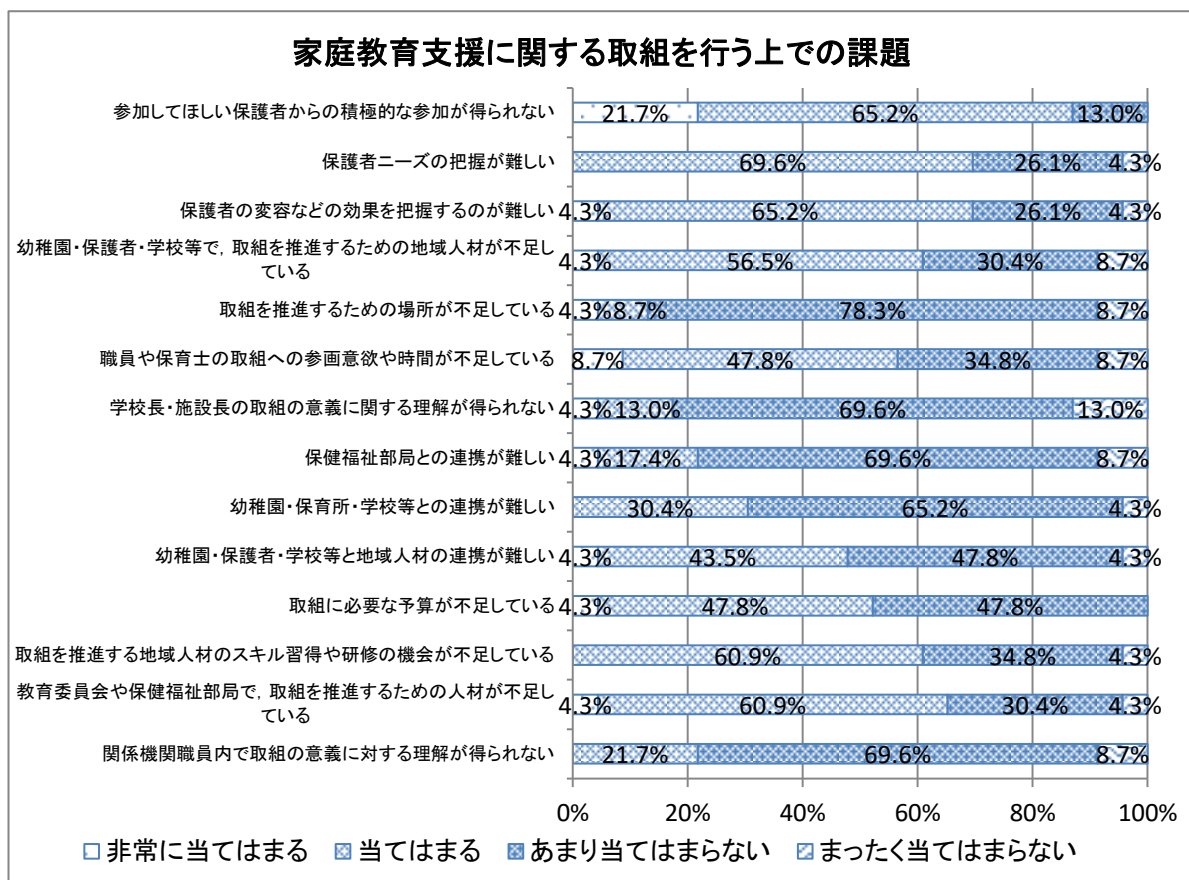
2① 家庭教育支援に関して、どのような取組を実施していますか。



<「その他」の内容>

- ・「『親の力』をまなびあう学習プログラム」の実施【府中市】
- ・子育て支援センター、ネウボラにおける学習機会の提供【東広島市】
- ・地域子育て支援センター運営「情報誌あいあい」の毎月発刊【神石高原町】

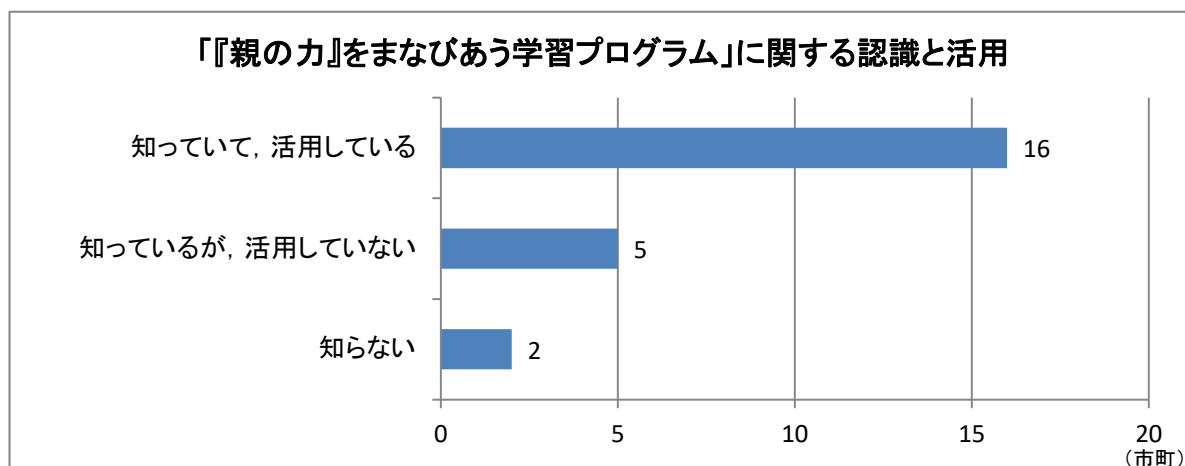
2② 家庭教育支援のための取組を行う際に、どのような課題があると思われますか。



<その他、課題として挙げられた内容>

- ・組織の縦割りにより、各々が事業発案、予算付け、事業運営を行っており、限界がある

3 家庭教育支援の充実に向けて広島県が取り組んでいる「『親の力』をまなびあう学習プログラム」について知っていますか。また、「『親の力』をまなびあう学習プログラム」を活用していますか。

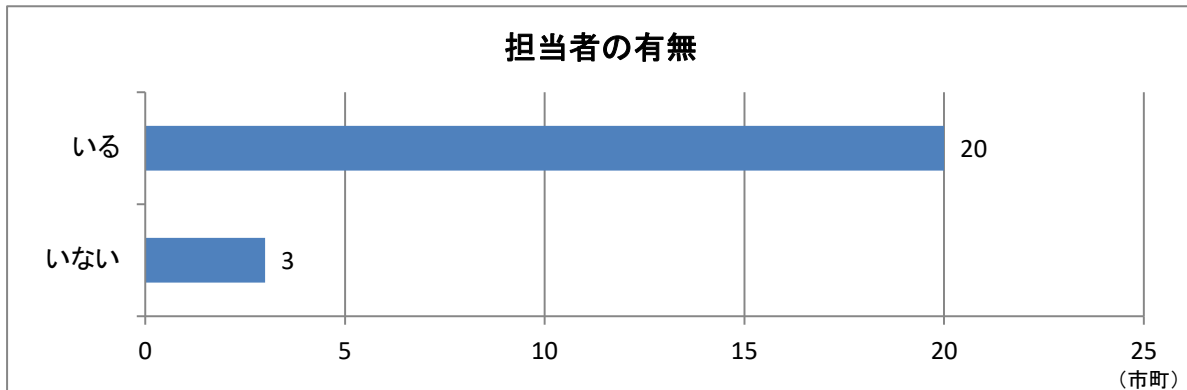


<「知っているが、活用していない」場合の理由>

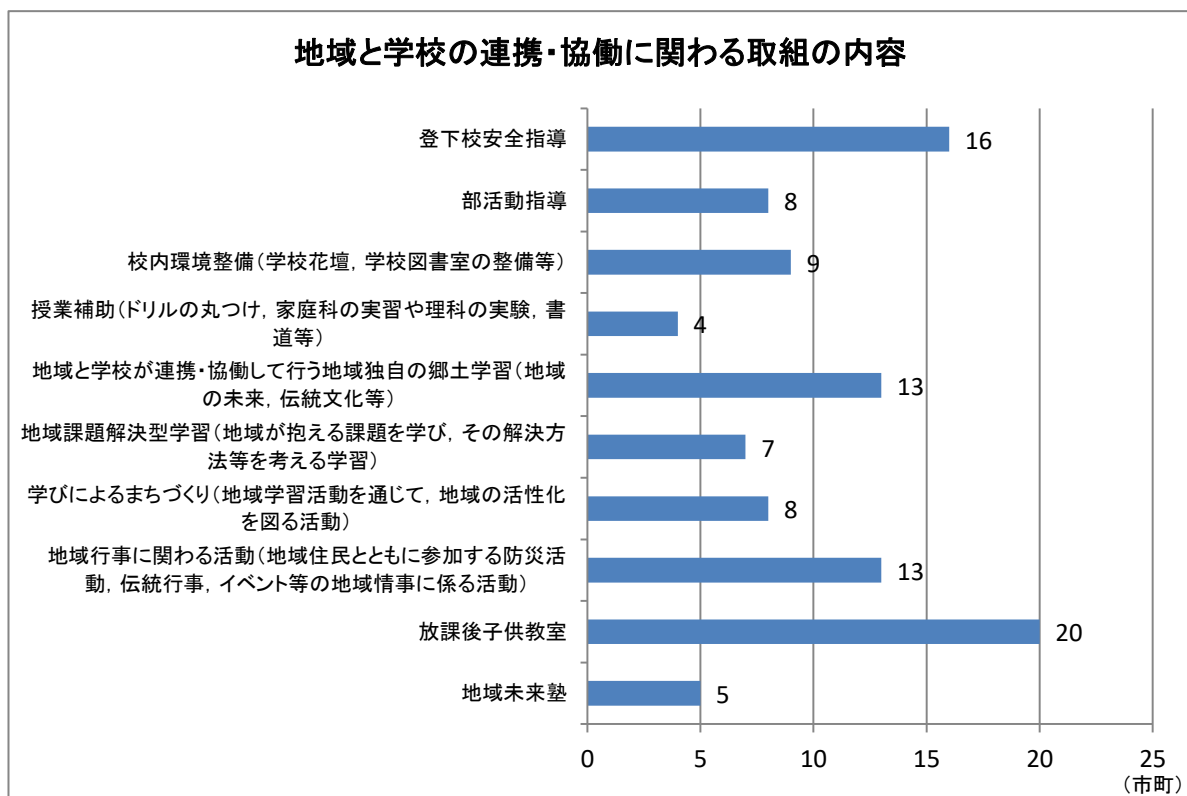
- ・本町では、子育て支援は主に福祉保健部の業務となっている
- ・人員不足
- ・ニーズがあまりないため。近年新しいファシリテーターを養成していない
- ・本町で要望あった際、町内ファシリテーター派遣が完結できる組織づくりを模索中

IV 地域と学校の連携・協働について

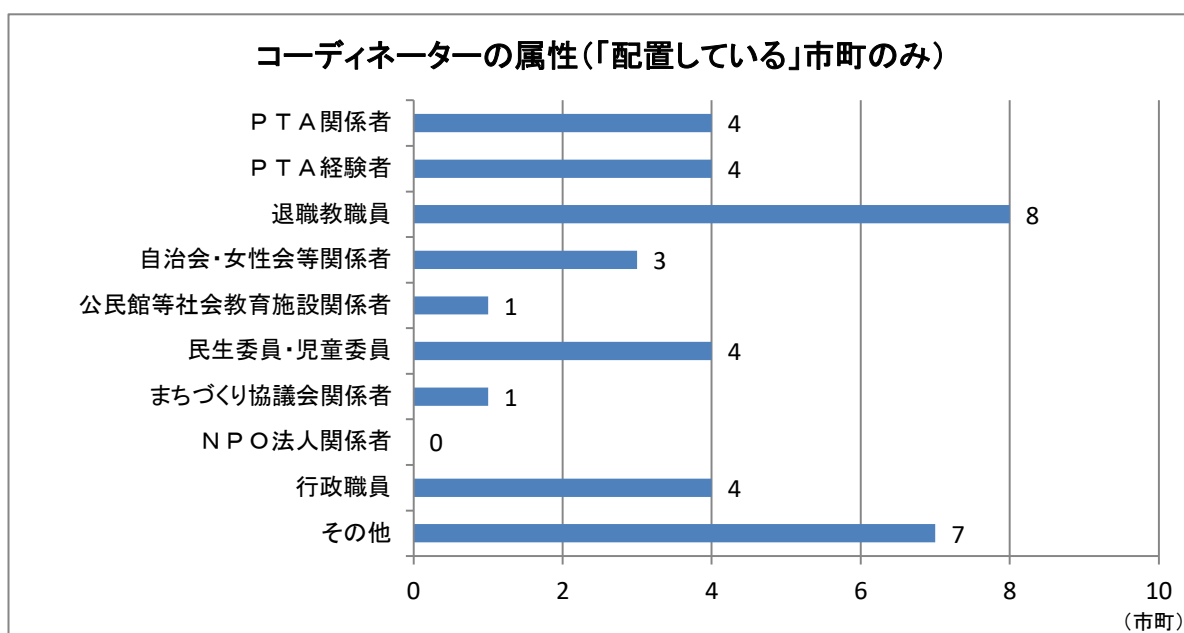
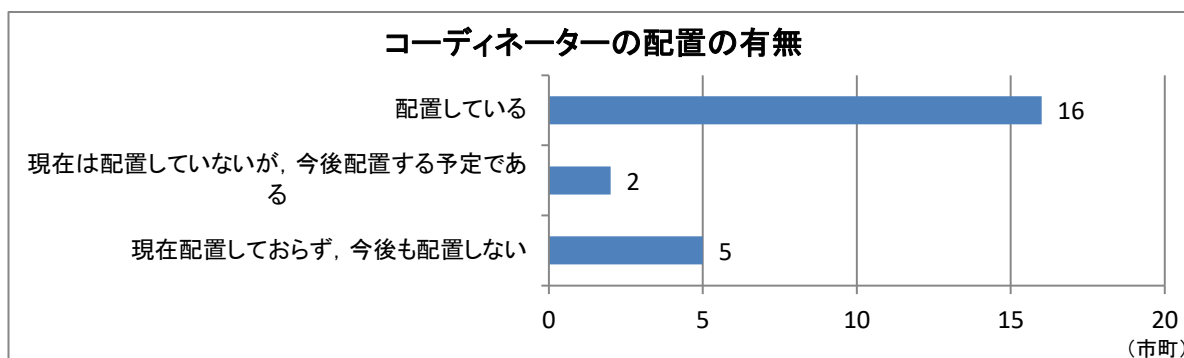
1 貴市町では、地域と学校の連携・協働に関する担当者(職員)はいますか。



2 貴市町では、地域と学校の連携・協働の促進に関して、どのような取組が行われていますか。



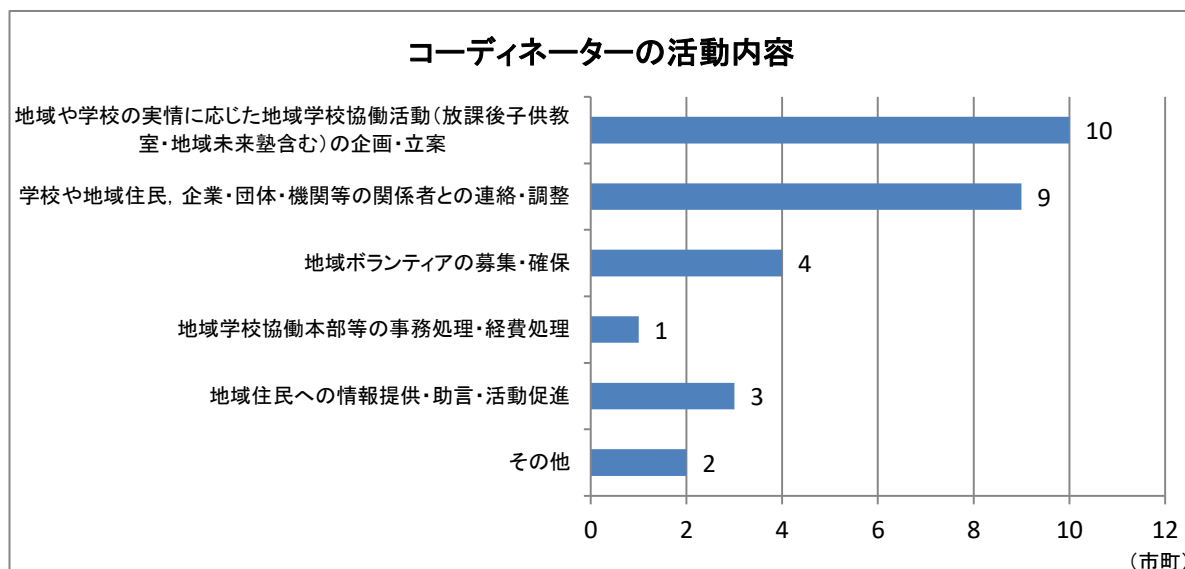
3 貴市町では、コーディネーター(統括コーディネーター, 地域コーディネーター, 地域学校協働活動推進員等)を配置していますか。「配置している」を選択した場合, そのコーディネーターはどういった方ですか。



<「その他」の内容>

- ・大学教員, 子どもの見守り事業の指導員経験者【広島市】
- ・放課後子供教室スタッフ経験者【三原市】
- ・地域住民【大竹市】
- ・元行政職員【熊野町】
- ・会計年度任用職員【大崎上島町】
- ・放課後子供教室を運営する地区の自治センター長【世羅町】

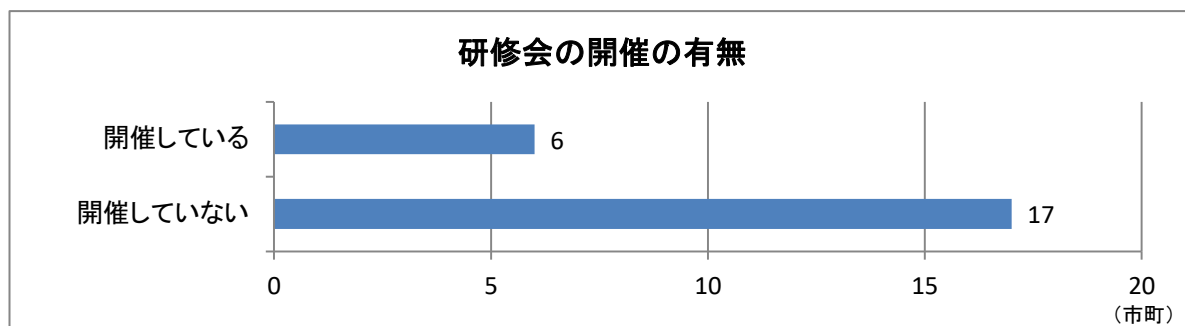
4 貴市町では、コーディネーター（統括コーディネーター，地域コーディネーター，地域学校協働活動推進員等）はどのような活動をしていますか。（設問3にて、「配置している」と回答した市町のみ）



<「その他」の内容>

・放課後子供教室【安芸太田町，大崎上島町】

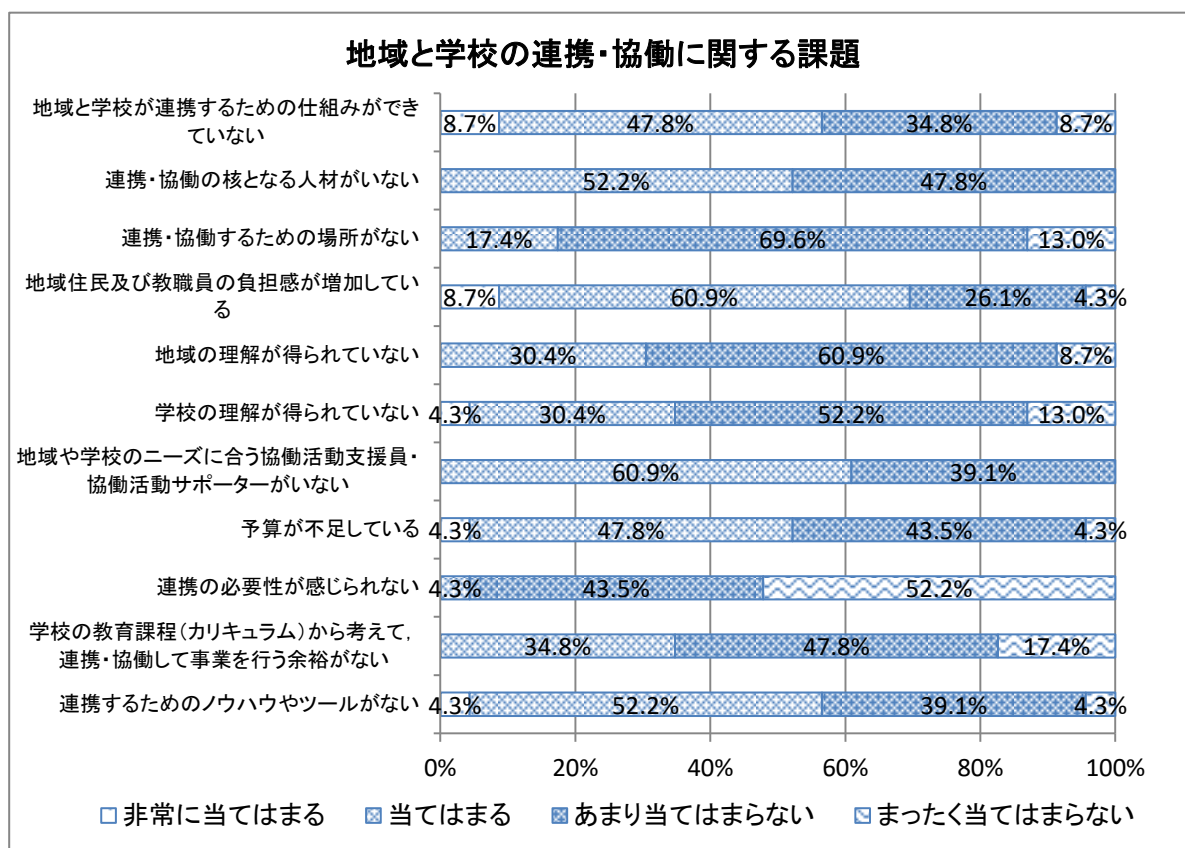
5 貴市町では，地域と学校の連携・協働に関する市町独自の研修会を開催していますか。なお，「開催している」と回答した場合は，研修内容について詳しく御記入ください。



<研修会の内容>

- ・放課後学習支援の効果的な実施方法等についての確認，学校内における不審者対応の確認，不審者情報の共有【広島市】
- ・ボランティア研修会「子供を守る知識とスキルを学びあおう」【尾道市】
※詳細は，49～50ページを参照
- ・地域学校協働活動に関する研修，意見交換，情報交換等【廿日市市】
- ・学校運営協議会設立に向けた委員研修会【海田町】
- ・放課後子供教室における子供の安全についての研修【世羅町】

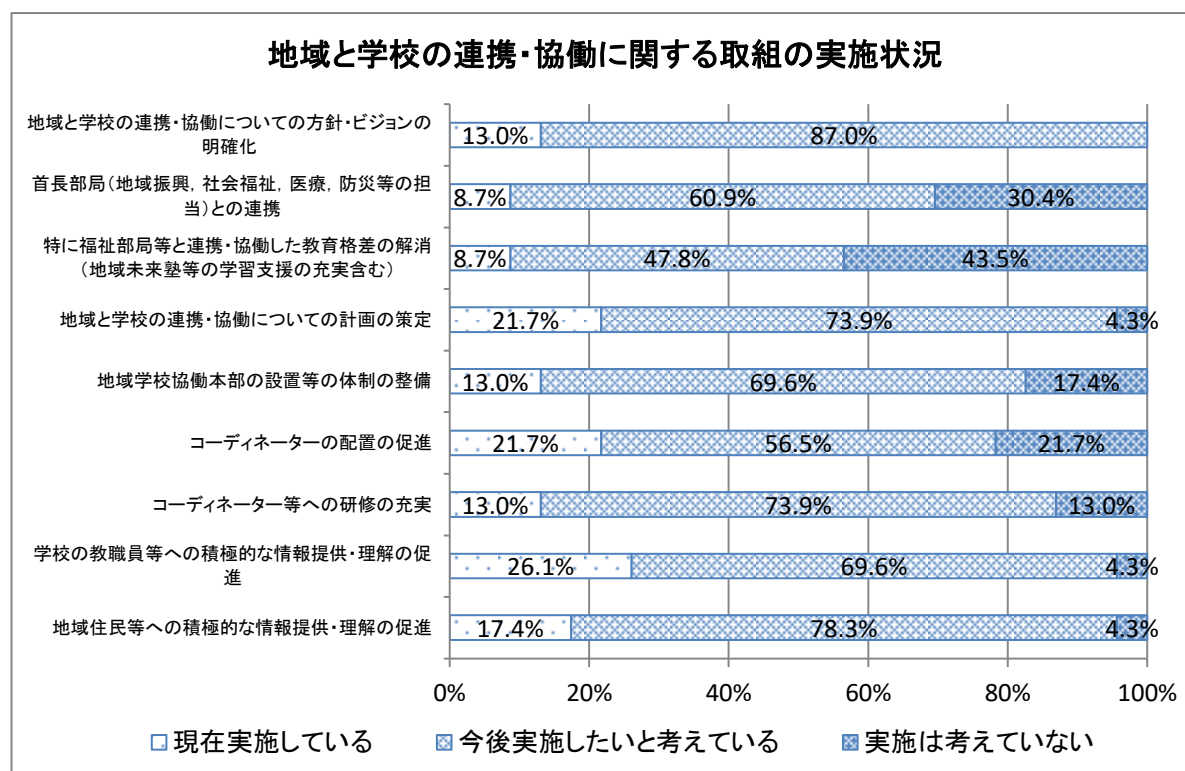
6 貴市町では、地域と学校との連携・協働について、どのような課題がありますか。



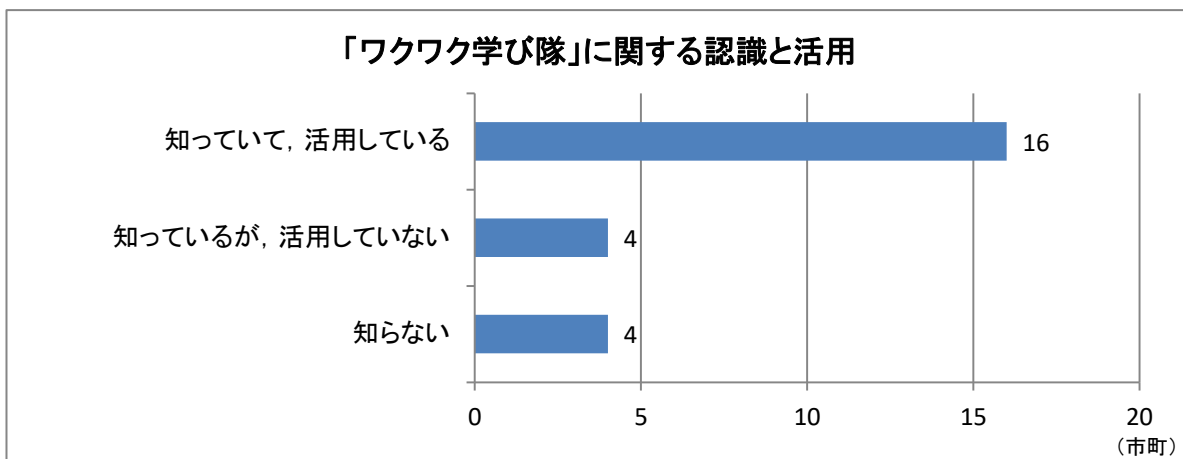
<その他の課題>

- ・地域資源情報収集、地域学校協働活動推進員への助言支援の仕組みができていない
- ・学校区間の温度差がある

7 地域と学校の連携・協働について、貴市町が現在実施していること、また今後実施したいと考えていることはどのようなことですか。



8 広島県立生涯学習センターで実施している「ワクワク学び隊」について知っていますか。また、「ワクワク学び隊」を活用していますか。

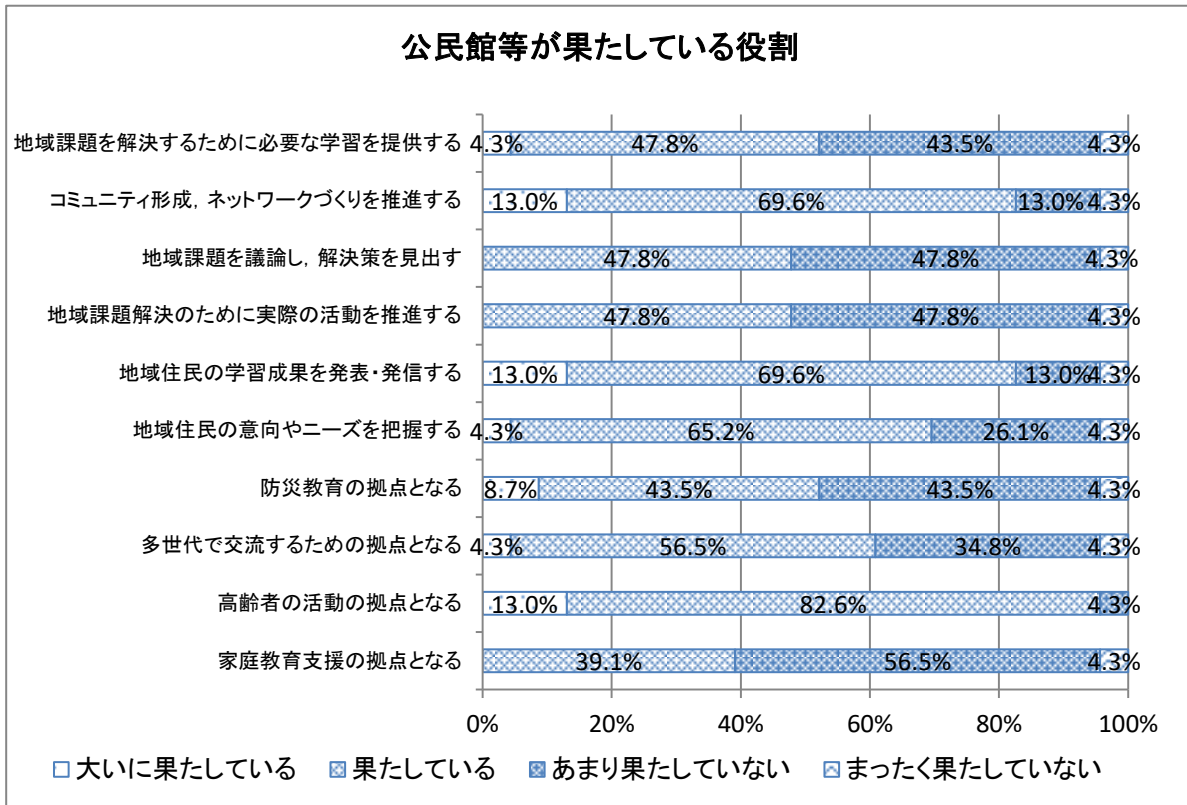


<「知っているが、活用していない」場合の理由>

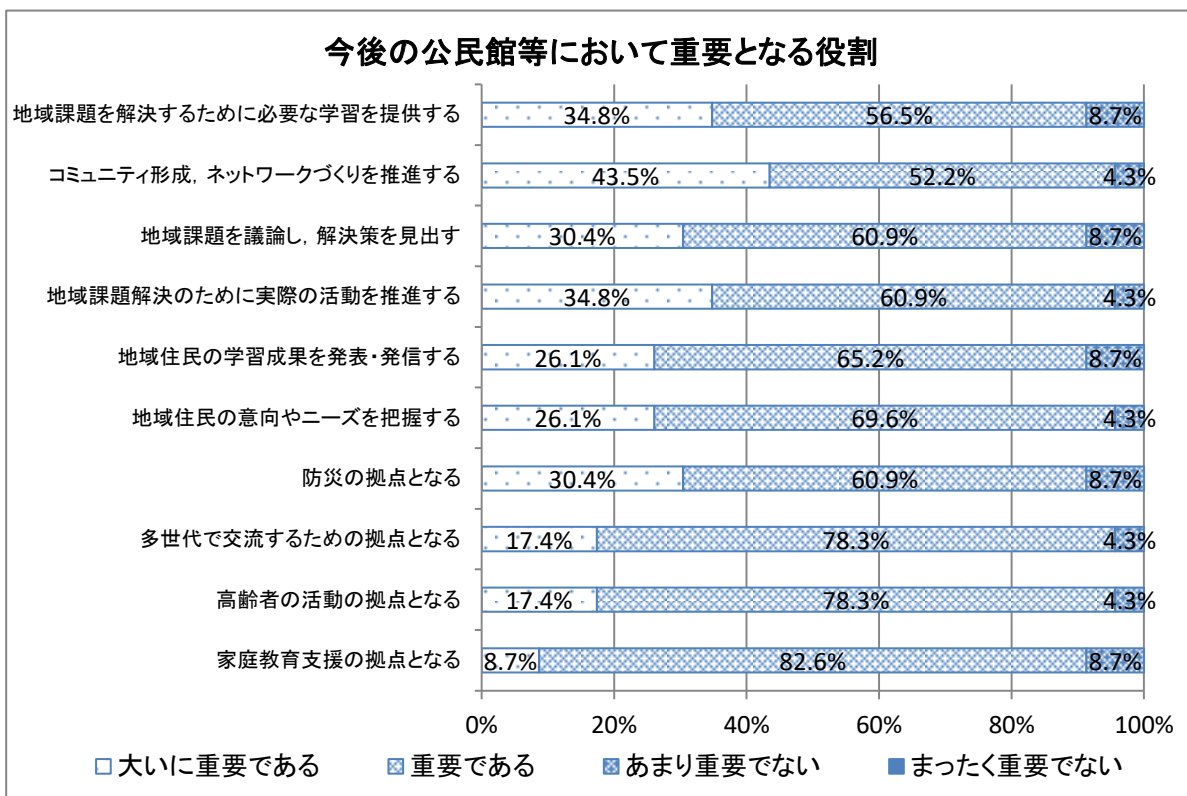
- ・放課後子供教室の委託団体が利用の有無を決定。引き続き「ワクワク学び隊」の情報を委託先に周知したい
- ・放課後子供教室及び地域未来塾を実施していない
- ・現状、放課後子供教室の利用者等からの活用の要望はないが、希望があれば活用する
- ・本市ボランティア活動支援センターに登録の学生団体を活用している

V 公民館等の運営について

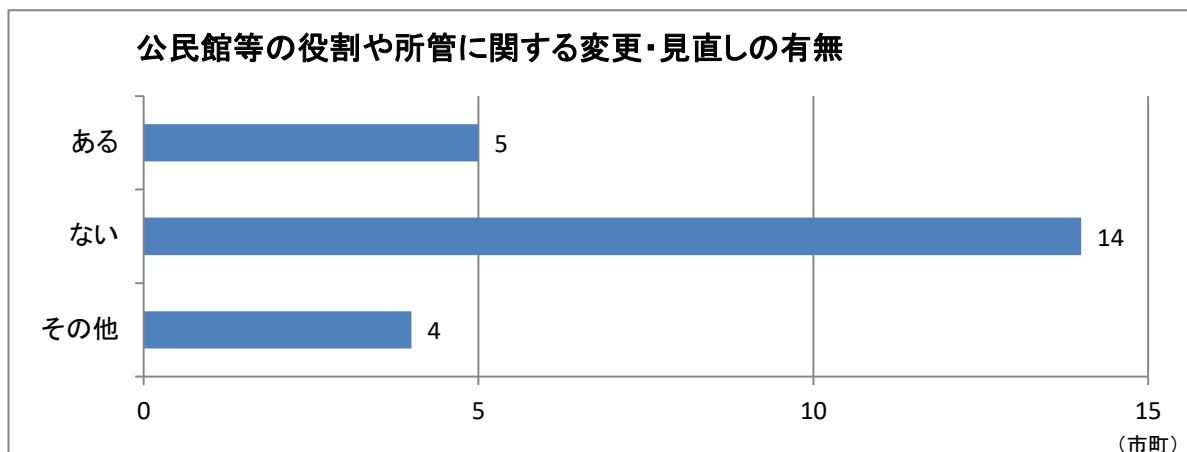
1 現状として、貴市町の公民館等(コミュニティセンター等の類似施設を含む)はそれぞれの役割をどの程度果たしていると思われますか。



2 今後の公民館等の運営において、それぞれの役割はどれほど重要になってくると思われますか。



3 貴市町では、公民館等の今後の役割や所管等の在り方について、変更・見直しをする意向はありますか。

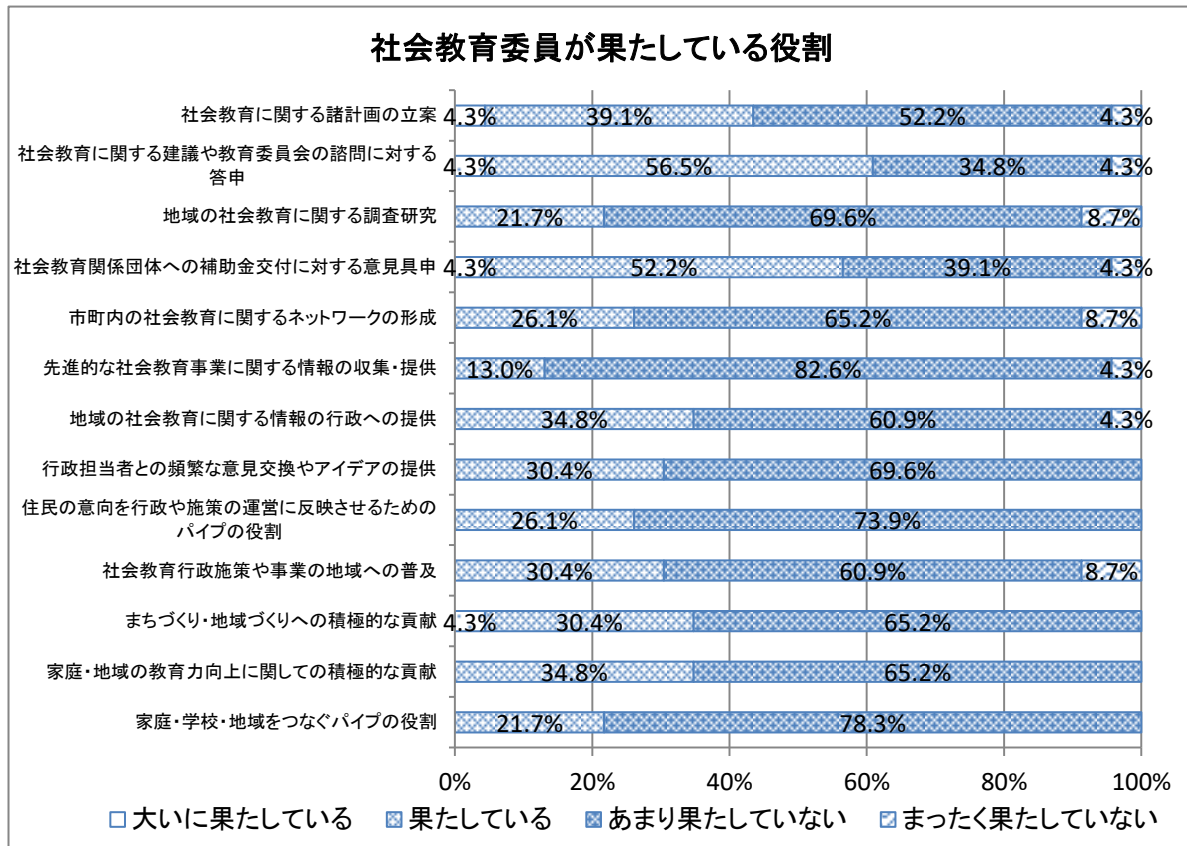


<「ある」「その他」の内容>

- ・地域活動の拠点施設としての役割を担う施設への転換を検討中【三原市】
- ・令和2年度中に作成される施設の個別計画の中で整理される予定【尾道市】
- ・公民館の機能を中心にした複合的機能を有する施設となる交流館への再整備【福山市】
- ・各施設の配置計画(修正)の策定と実施【東広島市】
- ・指定管理による運営を増やすことを検討【廿日市市】
- ・施設の老朽化に伴い、類似施設と集約化する【江田島市】
- ・所管のあり方についての意見がある【海田町】

VI 社会教育委員の職務について

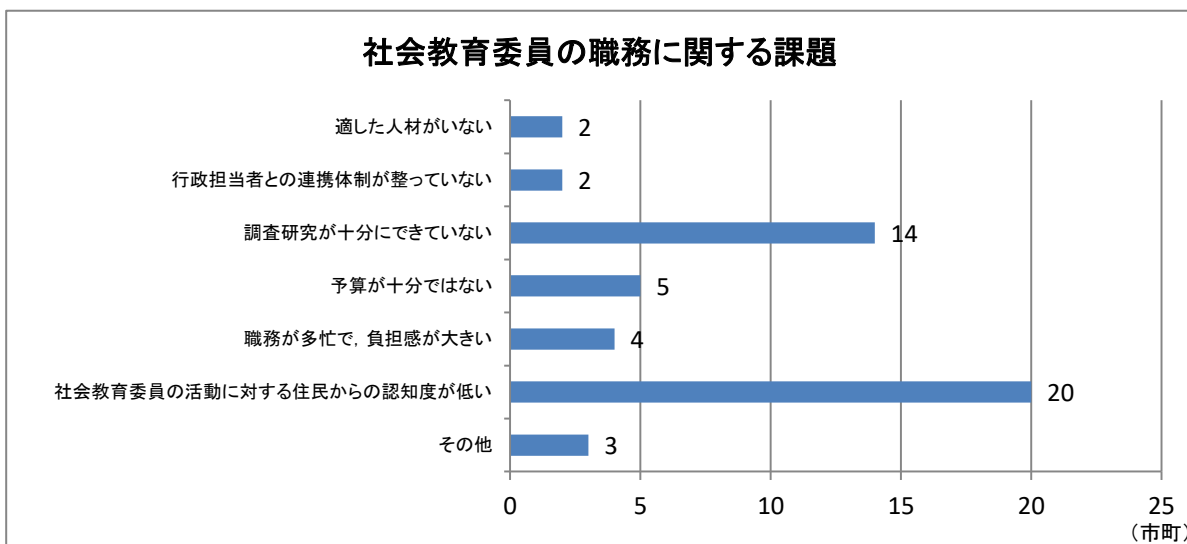
1 貴市町では、社会教育委員はどのような役割を果たしていると思われますか。



<その他の役割>

- ・生涯学習推進計画の点検評価，社会教育関係職員に対する資質向上のための研修講師【東広島市】

2 貴市町では、社会教育委員の職務について、どのような課題がありますか。

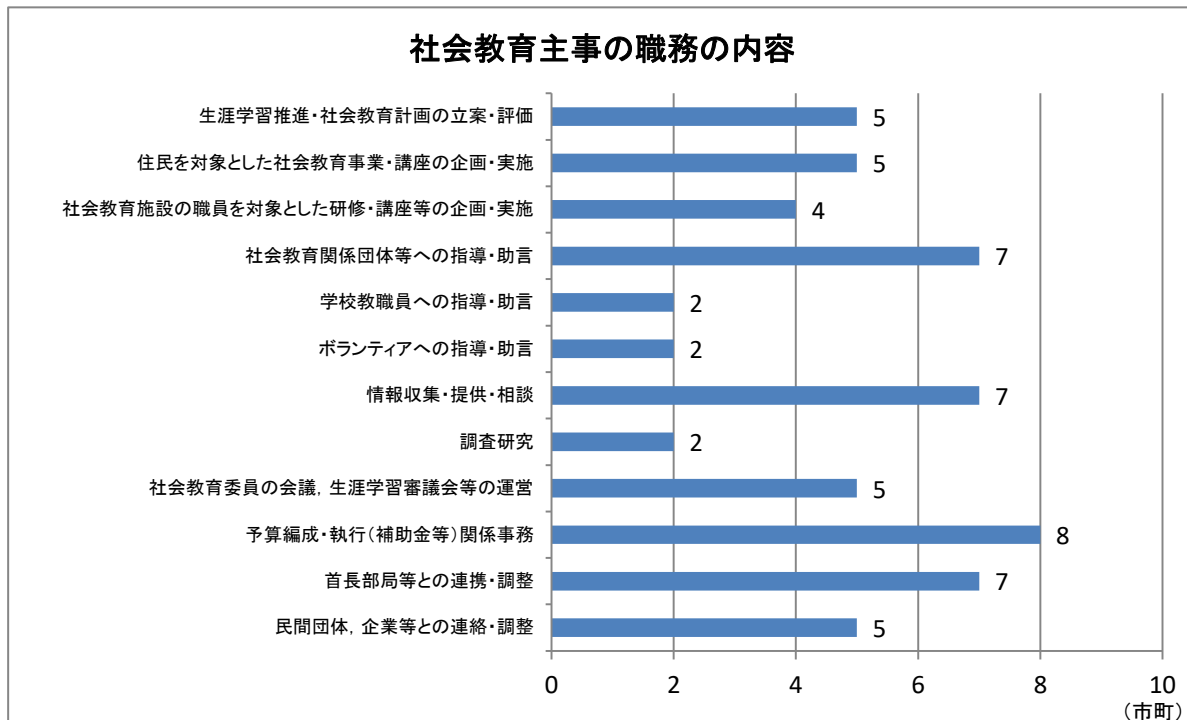


<その他の課題>

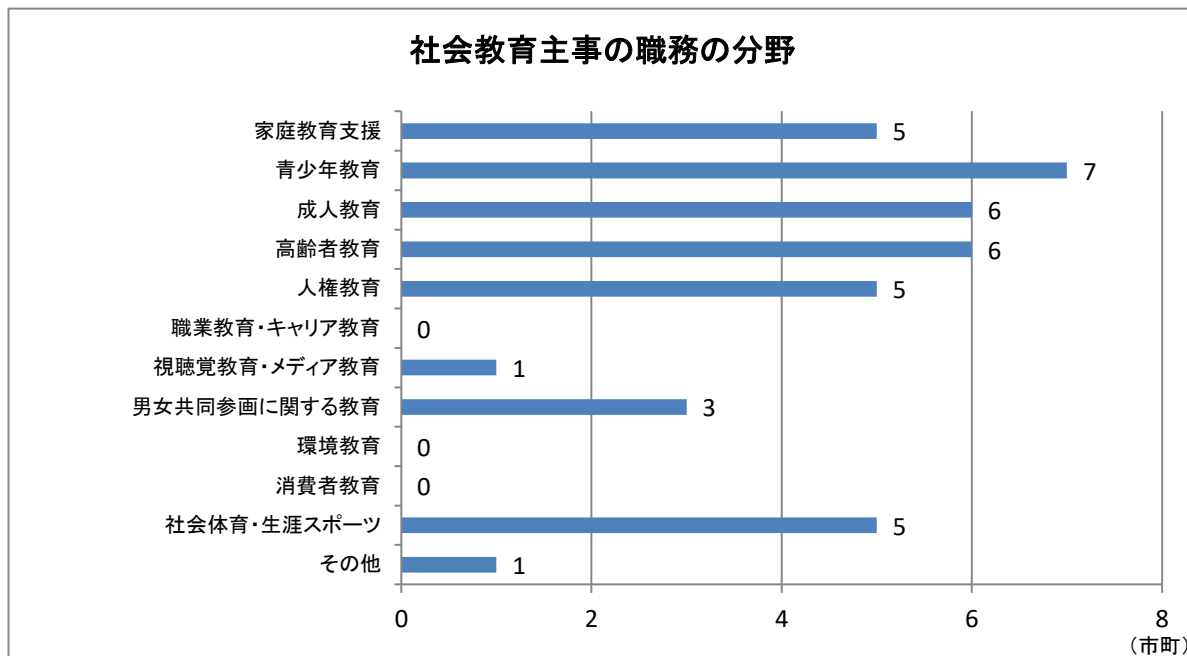
- ・社会教育委員と行政担当者との意見交換等をする機会が少ない
- ・行政が社会教育委員の人選，職務の活性化について取り組めていない
- ・行政が，社会教育委員を活かしていない。委員の意識がばらばら

VII 社会教育主事の職務について

- 1 貴市町の社会教育主事は、現在どのような内容の職務に取り組んでいますか。
 ※社会教育主事の発令がなされている市町のみ回答。(10市町)



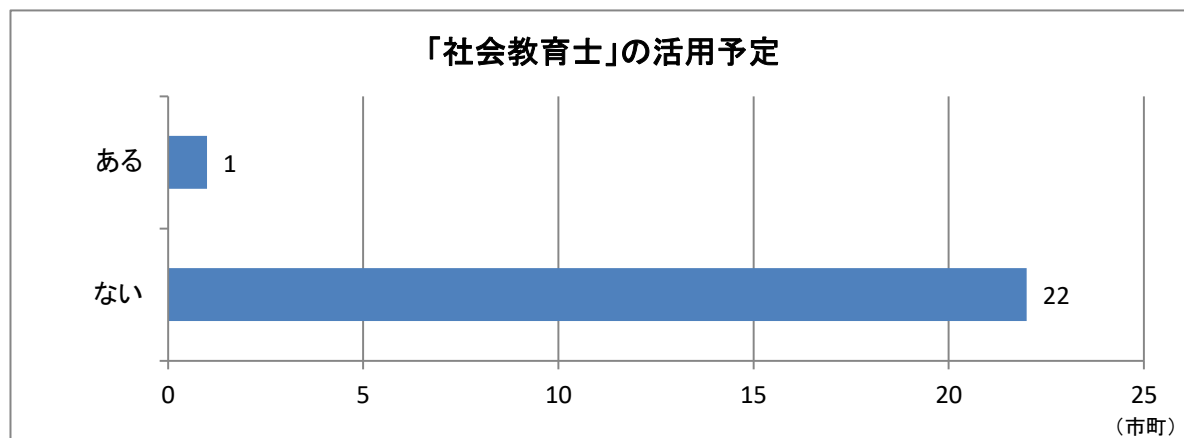
- 2 貴市町の社会教育主事は、現在どのような分野の職務に取り組んでいますか。
 ※社会教育主事の発令がなされている市町のみ回答。(10市町)



<「その他」の内容>

・読書活動の支援(図書館業務)【尾道市】

3 貴市町では、今後の生涯学習・社会教育の取組において、令和2年度より導入される「社会教育士」を活用する予定はありますか。また、「ある」を選択された場合、どのような形で活用することを検討していますか。



<「ある」の内容>

・各センターの社会教育指導員と連携し、社会教育講座の推進を図る【安芸高田市】

<「ない」の内容>

・現時点ではないが、職員が取得する見込としており、今後検討の余地はある【竹原市】

VIII その他

- 1 「市町の課題・取組」「職員研修」「家庭教育支援」「地域と学校の連携・協働」「公民館等の運営」「社会教育委員の職務」「社会教育主事の職務」に関して、貴市町での特徴的な取組があれば、その取組について教えてください。

市町の課題・取組

【大竹市】

■KOIKOI ジュニアリーダーズクラブ

大竹市では、「21世紀を担う人材育成事業」の一つとして、ジュニアリーダー育成事業「KOIKOI ジュニアリーダーズクラブ」を開催している。

学校も年齢も異なる仲間との体験学習を通し、自立心・社会性を育みコミュニケーション力や忍耐力を高め、将来の大竹を担う青少年の育成を目指して実施している。大竹の良い所を再発見してもらうことも目的の一つである。

対象者は、市内在住又または在学の小学5年生から高校生で、令和2年度は、日帰りで6回の講座を企画した。(うち1回は荒天のため中止となっている。)

野外炊飯やグループワーク、体験活動などを取り入れることにより自立心や社会性を育むとともに、最終的には参加者でプログラムを企画し実施することで、将来の大竹を担う青少年の育成を目指している事業である。

※詳細は、66～67ページを参照。

【東広島市】

■東広島熟年マイスター教育講座

高齢者に限定した認知症予防、特殊詐欺対策をはじめとした現代的課題や、本市の福祉制度、地域づくり、幸せづくりや健康課題など、「老い」の特性を生かす学びを展開。「老い」を体系的に学ぶ活動に参加することで、自らの生きがいを創造するとともに、それぞれの地域での新たな縁の創出、高齢期の孤立化防止に資する。

○「人間・生活専攻コース」、「健康・スポーツ専攻コース」2講座で各10回の連続講座

○対象:65歳以上の市民

※詳細は、68～74ページを参照

■生涯学習サテライトキャンパス講座

市全域で大学と連携した生涯学習事業を行っているが、開催場所が限られていることから、市民が身近な場所での受講がかなわないという課題があるため、直接大学教授等が地域に赴いて、講義をする機会を更に充実させることにより、本市の生涯学習推進の基本目標である「市全体を学びのキャンパスに」を具現化し、市内全域に高度で専門的な学習機会を提供することを目的とする。

○講師を依頼する大学

広島大学(広大マスターズ)・近畿大学・広島国際大学

○実施場所及び回数

市内各町の生涯学習センター及び地域センターのうちから9か所

○実施時間

1講座90分程度

○対象

東広島市民

○学習内容

健康、福祉、文化、科学等アカデミックな内容を分かりやすく学ぶ

■ブックデビュー活動推進事業

「ことば」の蔵とも言える絵本や図書館を手がかりとして、様々な社会的子育て支援事業と結合しながら、あかちゃんの「ことば」の獲得を手助けする、家庭教育支援の一環とした事業。

○実施場所

地域すくすくサポート(東広島版ネウボラ)、図書館など

○対象者

乳幼児とその保護者、妊産婦と配偶者

○ブックデビュー推進会議等の設置

実施ボランティアの育成等、行政と市民が連携して取り組むことを検討する組織の設置

※詳細は、75～76ページを参照

【江田島市】

■江田島しましまスタンプラリー

図書館(室)の利用促進及び読書を推進するため、市内にある図書館(2館)と図書室(2室)が連携してスタンプラリーを開催。

借りた本の数に合わせてスタンプを押し、期間中(7月初旬～9月末)に30個のスタンプを集めた方に記念品を贈呈する。

※詳細は、79ページを参照。

【熊野町】

■家庭読書推進事業(くまどく)

対象:熊野町に住所を有する中学生以下の児童生徒等

内容:読書の推進と家庭の絆づくりを目的として、子どもと家族が同じ本を読み、その感想等を共有し、読んだ本の内容について家族で語りあい、家族間のコミュニケーションを図るものである。

【世羅町】

■「暮らしの中に本がある」環境づくり事業

町内まるごと図書館構想の下「暮らしの中に本がある」環境づくりに向けて、様々な事業に取り組むことで、読書活動の推進を図る。

現在実施している事業は、ブックスタート事業、セカンドブック事業、せらのまち あちこち図書館、子ども司書養成講座、やまねこ母さんのおはなし会などのソフト事業が中心である。また、今年中に「世羅町子供の読書活動推進計画(第三次)」の策定を予定している。

職員研修

【福山市】

■公民館・交流館職員研修(外部講師を招いての3回連続講座)

テーマ「知っておきたい これが公民館運営術」

市内6生涯学習センターで毎月実施している公民館・交流館職員の主事会の際に、各センター毎にテーマを決め研修を行っている。

研修テーマは、人権学習・平和学習・まちづくり・安全研修等を行っている。

※詳細は、51ページを参照

【廿日市市】

■手話講座

ほぼ毎月開催する市民センター職員を対象とした職員部会において、手話講座を行った。

廿日市市では、平成30年6月に「廿日市市手話言語の普及及び多様なコミュニケーション手段の利用促進によるやさしいまちづくり条例」を定め、多様なコミュニケーション手段の円滑な利用促進に関し、基本理念を定めている。これにより、全ての市民が安心して豊かに暮らすことができるまちづくりを実現することを目的としている。

各地域の生涯学習及び地域づくりの拠点である市民センターは、多くの方が訪れ、多様なコミュニケーション手段が求められる。そのため、月一回開催する職員部会において複数回に分け、窓口対応を想定した実用的な手話講座を開催し、サービスの向上を目指した。

家庭教育支援

【呉市】

家庭教育の充実に向けて、親子関係や家族関係などをより豊かなものにしていくきっかけづくりのために、広島県教育委員会が開発した「『親の力』をまなびあう学習プログラム」を活用した講座を、呉市からファシリテーター(講師)を派遣して実施している。

令和元年度は、講座を15回開催し、延べ605人が参加した。

※詳細は、35～42ページを参照

【尾道市】

地域に根差した家庭教育支援を推進するため、家庭教育や子育てに関する情報提供、家庭教育講座の提供およびコーディネート、相談対応等を行っている。

※詳細は43～50ページ、また、尾道市HPIに掲載されている親ちからのリーフレットを参照。

<https://www.city.onomichi.hiroshima.jp/site/kyoiku/3067.html>

【三次市】

■三次市甲奴地区教育支援チーム

- ・地域女性会ピースベル甲奴
- ・株式会社グリーンカウベル
- ・カーターピーナッツ研究会
- ・おはなし会サークルへびくのおさんぽ
- ・三次市母子保健推進員

以上5団体で構成され、それぞれの団体活動に加え、別紙で紹介する「子ども食堂」のように連携した活動も行っている。

※詳細は、57～59ページを参照

【庄原市】

庄原市では、平成28年度に「子供の読書活動推進計画(第三次計画)」を策定し、学校・家庭・地域が連携し、子供が図書に触れる機会を増やすことを掲げている。これまで各自治振興区や読書ボランティア団体がそれぞれ活動を行ってきたが、活動をつなげ充実を図るとして、読書ボランティアや学校司書、「親プロ」ファシリテーター等を構成員とした家庭教育支援チームを平成30年11月に設置した。図書館や読書ボランティアと連携した活動に取り組み、企画や意見交換の場である家庭教育支援チーム会議を年数回開催。令和元年度には図書館まつりを実施した。

※詳細は、62～65ページを参照

【安芸高田市】

■「親プロ」オリジナルの人権講座

参加体験型学習「『親の力』をまなびあう学習プログラム」のオリジナルプログラムとして、人権講座「きもちかんじる クリスマス会」を実施。

- ・対象者：安芸高田市内在住の3歳から小学生(保護者同伴)
- ・実施日：人権週間中の土曜日または日曜日
- ・プログラムの内容：絵本の読み聞かせ・アイスブレイク・クリスマスリースづくり・メッセージカードの記入(作成したクリスマスリース及びメッセージカードは、市民文化センターの1階に1週間程度掲示)

■ブックスタート

「安芸高田市子供の読書活動推進計画」に基づき、家庭での読み聞かせなど、読書活動へのきっかけづくりを目的として、安芸高田市に生まれたすべての赤ちゃんと保護者に、絵本を開く体験とともに絵本をプレゼントする、ブックスタート事業を実施。

- ・対象者：生後4か月の赤ちゃんとその保護者
- ・配布方法：健康長寿課が実施する4か月児相談の会場で、待ち時間などを利用し、市内読み聞かせボランティアが、絵本の選び方や読み聞かせのアドバイスをしながら絵本を手渡す。(現在は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、読み聞かせは中止)
- ・プレゼントの内容：絵本1冊・おすすめ絵本のパンフレット・布バッグ

※絵本は、市内読み聞かせグループが選んだお勧めの絵本(7冊)の中から、お好みの本を1冊選んでもらう。

【府中町】

1. 「『親の力』をまなびあう学習プログラム」(通称 親プロ)を活用した出前講座

- ・講座実施機関の開拓
- ・ファシリテーター(進行役)の養成・ステップアップ研修
- ・地域課題を踏まえた独自教材の作成

2. コミュニティ・スクール導入校での「ヨガ・しゃべり場」

3. 子育て相談(フリートーク)

4. 不登校児童生徒の保護者の支援「カフェ くすのき」「親どうしが語り合う会」

5. 託児サービス及び各種研修会の講師等

※詳細は、80～85ページを参照

【世羅町】

■世羅町家庭教育支援チームの活動

「『親の力』をまなびあう学習プログラム」のファシリテーターグループ「Pクラブせら」の活動を側面的に支援することで、家庭教育講座の開催を促している。

「Pクラブせら」の特徴は、チームファシリテーション(1人ですべてを行うのではなく、役割分担をして個々の負担軽減をしている)である。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、「『親の力』をまなびあう学習プログラム」を活用した講座等の依頼が現在はない状態であるが、今後は県が開催する研修会への参加や定例会の再開を予定している。

地域と学校の連携・協働

【尾道市】

小学校、中学校単位で地域教育支援推進委員会(主に地域の関係団体の役員等で構成されている)を設置し、学校の状況に応じた学校支援を行っている。

これは、地域の教育力及び家庭の教育力向上を図るため、地域全体で主体的に子どもの教育を支援する体制を構築し、学校支援ボランティアによる学校支援及び講座等の開催による家庭教育支援活動等を行うことを目的としている。

※詳細は、43～50ページを参照

毎年ボランティアの研修会として、放課後子ども教室、放課後児童クラブ、教育ボランティアの指導員等に対して研修を行っている。

令和元年度はCAP講座を行った。子どもがいじめ・虐待・性暴力や犯罪など危険な目にあわずに、安心・安全な環境で成長していくためには、学校・家庭・地域の三者が一体となって、環境を整えていく必要がある。そこで、子どもたちを守るために大人は何ができるのかを、参加者同士話し合いながら、CAPプログラムをとおして考え、子どもの人権を尊重した支援の方法を学んだ。

※詳細は、49～50ページを参照

【府中市】

■地域未来塾「天領あやめ塾」

少子高齢化の進展、人口減少が進む地域において、学級規模の小規模化などによる教育上の課題や、学校統廃合の進行による学校と地域の関係の希薄化などの課題が生じている。

これらの課題に対して、地域人材による学校の教育活動の支援によりその緩和を図るとともに、学校や地域の教育環境の魅力の向上を図り、地域全体で地域の将来を担う子どもたちを育成することを通して、地域創生の実現を目指す。

※詳細は、52～56ページを参照

【三次市】

■コミュニティースクール研修会

日時: 令和2年6月30日(火) 14:00～16:00

場所: 三次市役所会議室

内容: ①開会行事 教育長挨拶

②三次市教育委員会「三次市におけるコミュニティースクール導入計画の現状について」説明

③文部科学省総合教育政策局
コミュニティー・スクール推進員(CSマイスター)
府中市教育委員会 主幹 宮田 浩治
「『Society5.0時代』の学校づくり・地域づくり」

④質疑・応答

⑤閉会行事 教育長挨拶

※令和2年10月22日(木)に2度目となる研修会が行われた。

■若者×ツナグバ

・ほしはら山のがっこう

ワカモノ×コドモ自然学校プロジェクト

ワカモノが自分たち、そしてコドモを対象とした自然体験企画&実行をとおして仲間づくりと社会貢献、そして新しい自分と出会うプロジェクト。ショッピングセンターを活用してのカフェイベント、ワカモノボランティアデビューや対話の機会づくりを企画実践

・NPO法人三次おやこ劇場

若者の自宅以外の居場所づくり、オープンカフェブースでの石窯づくり、カフェの運営とイベント企画を若者自身で実践できるきっかけ作り

★マツダ財団・府中町の志楽蝶・おやこ劇場・ほしはら山のがっこうのタイアップによるおとなの自然学校プロジェクトの企画・実施も行った。

※詳細は、60～61ページを参照

【安芸高田市】

■地域未来塾(放課後子供教室)

経済的な理由等により、家庭での学習が困難な小学生をはじめ、学力の遅れがちな小学生を主な対象として、家庭学習活動を支援し、基礎学力の定着を図り、様々な体験活動等校外活動にも積極的にチャレンジする子どもの育成を推進することを目的とする。

・対象者:安芸高田市内小学校 5・6年生

・受講費用:無料

・会場:安芸高田市内小学校および隣接施設(文化センター)

・開講日:週2日(令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため週1日)

・開講時間:16時30分から18時(1時間30分)

・講師:各会場1名～2名(事業に興味・関心があり、指導に積極的な成人市民・教員OB/OGなど)

【府中町】

放課後子供教室のボランティア等を対象に、県の「訪問型研修」を利用し、町主催の「府中町放課後子供教室ボランティア研修会」を年に1、2回実施している。

研修内容は、県から紹介された講師による講演会(例:子どもとの接し方等)や工作研修、意見交換会等でプログラムを組んでいる。

※詳細は、86～88ページを参照

【海田町】

文部科学省からコミュニティ・スクール推進委員(CSマイスター)をお招きし、学校運営協議会委員を対象に「学校運営協議会制度」についての研修を実施した。

【北広島町】

■ふるさと夢プロジェクト

平成27年度から実施。「ふるさとを知り、ふるさとを愛し、将来ふるさとに住みたい、ふるさとに帰りたくなる子どもの育成」を目的に事業展開

(1)各学校事業～各学校毎に事業計画。地域の方々と共に活動する。

(2)町全体事業

①小学校横断事業

・5年生:町内民泊体験～北広島のよさを満喫しよう

・6年生:植松電機社長の講演「夢と希望を乗せてロケットを飛ばそう」・ロケット制作と発射

②中学校 北広島版キャリア教育

・茅プロジェクト・JOBトライアル

※詳細は、91ページを参照

公民館等の運営

【福山市】

概ね小学校区に1公民館を基本に市内に79館設置していたが、多くの施設が建築後30年を経過し、老朽化や利用しにくい施設となっている。そのため、住民の活動を支える身近なまちづくりの拠点として、公民館の機能を中心にした複合的機能を有する施設となる交流館へ再整備している。現在3館が交流館へ移行しており、公民館と同様の機能をそなえるものの、公民館とは異なり社会教育法に基づく教育機関としては位置付けていない。

【北広島町】

平成31年4月4地域公民館が、地域づくりセンターと名称変更し、教育委員会から町長部局のまちづくり推進課へ移管した。センター内は、教育委員会部局と町長部局の両方の職員が混在する。

令和2年度末に竣工予定の新しい建物で、まちづくりセンター(千代田地域づくりセンター)がオープンする。組織体制を検討中。

社会教育委員の職務

【海田町】

(当時)令和2年度開館予定の新海田公民館の整備に合わせて、「社会教育」「文化財保護」「文化芸術振興」「スポーツ振興」の各分野のソフト事業においても時代に即したものとなるよう、海田町教育委員会からの諮問を受け、平成31年3月1日に、海田町社会教育委員会より「社会教育施設のあり方」及び「文化協会及び総合型スポーツクラブの設立」について答申を行った。

答申にあたっては、合計6回の検討会議を重ね意見を集約した。

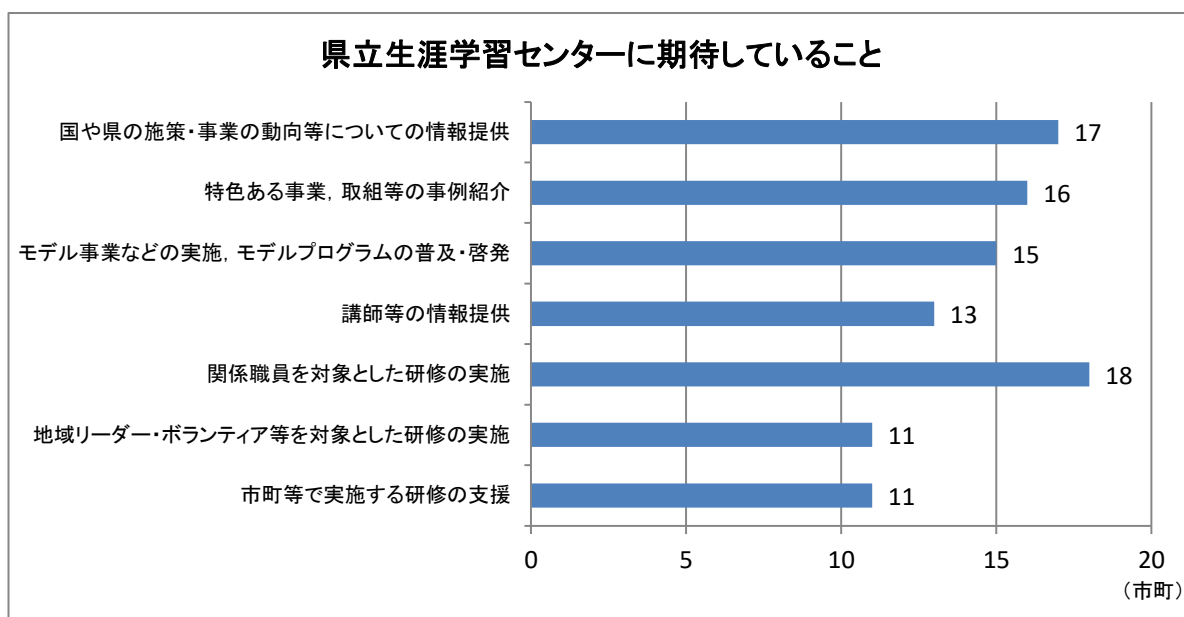
※詳細は、89～90ページを参照

社会教育主事の職務

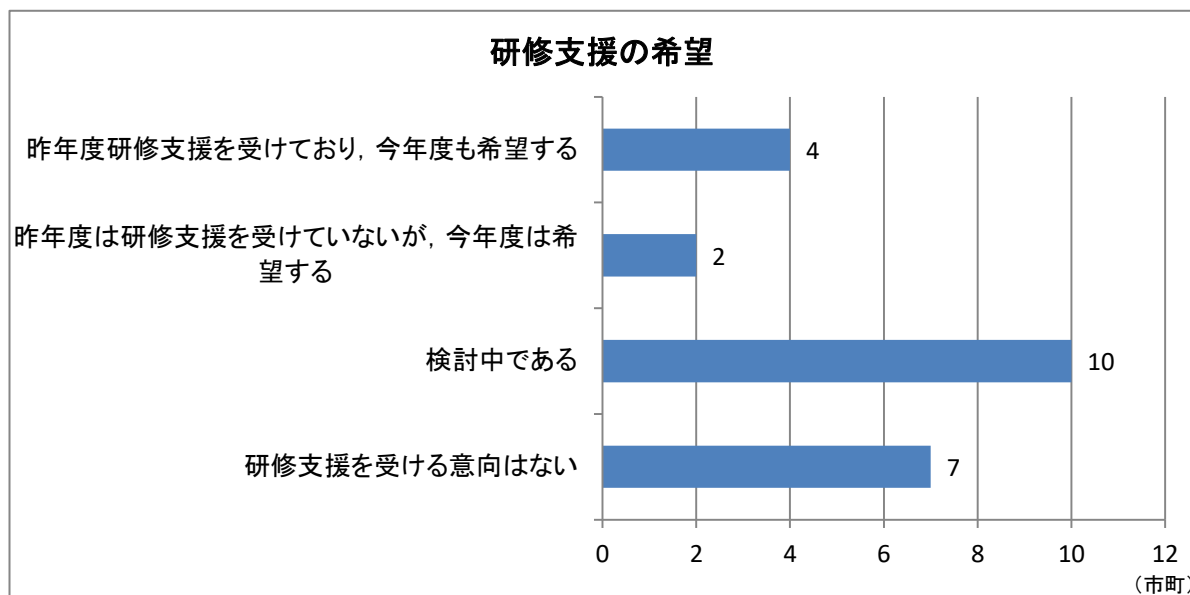
【廿日市市】

平成30年度、31年度、市民センター職員が社会教育主事講習を受講することにより、知識やスキルを得ることにより職員としての資質を高めることができた。

2 県立生涯学習センターにどのようなことを期待していますか。



3 県立生涯学習センターでは、「複雑・多様化する社会や地域の課題に対応した事業実施に係る取組の充実に向けて、市町の社会教育主事、研修担当職員等と連携・協働し、市町が実施する研修(人材育成)の企画・運営を総合的に支援する」という趣旨のもと、「地域課題対応研修支援(訪問型研修)」を実施しております。貴市町では、今年度(令和2年度)、こちらの研修支援を希望される意向はありますか。



<希望する研修支援の内容>

- ・公民館職員等の研修【府中市】
- ・昨年度も支援を受ける予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、研修会の実施ができなかった。市内自治振興センターで実施される生涯学習事業の充実、促進を図るため、事業評価指導等をお願いしたい【庄原市】
- ・「ひろプロ」計画及び実施に係る指導助言【東広島市】
- ・学習プログラムの企画・立案、広報紙作成の基礎、学習プログラムの評価【廿日市市】
- ・講師情報の提供や研修企画のアドバイス等【府中町】
- ・地域づくりのための学びの場とコーディネート、社会教育における広報(広報紙作成の基礎)【世羅町】
- ・基礎的な研修を様々な手法でお願いしたい。例えば、県内先進市町視察、他業種見学からヒントを得る(ICT技術などを学ぶなど)、災害対策の取組、現地の体験学習に実際に参加させてもらう、など【神石高原町】